

関大

第563号

平成23年(2011年)5月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

第96回定時代議員会を開催

平成23年度事業計画と収支予算案を承認

2011スプリングフェスティバル

5000人が絆深め明日の活力貰う

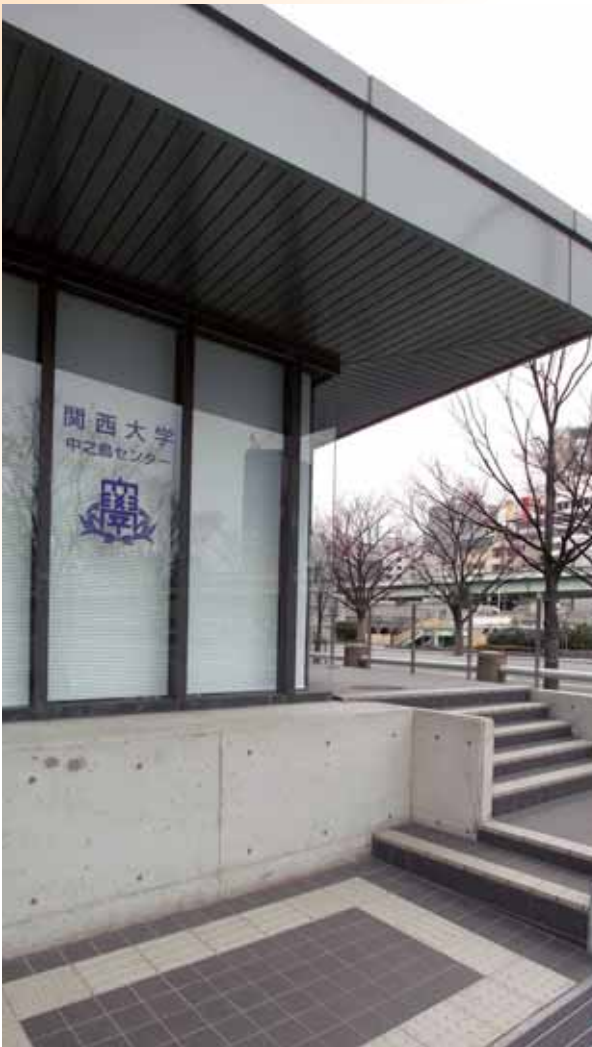
東日本大震災に関する関西大学の主な対応について

約6700人の新関大生誕生—13学部入学式

堺キャンパス、グランドオープン記念式典を挙行

天神祭「関大丸」、第17回海外研修 参加者募集!!





「中之島センター」

大阪府が都市再生のための実践的な人材の育成や社会人が学習しやすい環境づくりの取り組みとして進めていた「大学院サテライト教室立地促進事業」に基づき、平成16年（2004年）4月に設置された。

大阪の代表的な都市景観を構成し、オフィス街の中心に位置する中之島図書館別館にあり、主に法科大学院のサテライト教室として「リーガルクリニック」授業を開講している。同時に、都市部における関西大学の拠点としてインフォメーションの機能も備え、弁護士過疎地域のためにテレビ会議による法律相談なども実施されている。

1階に会議室3室、講義室1室、事務室、4階に会議室1室を有し、会議や就職活動支援の場として活用されるなど、多くの人の交流の場、学ぶ場としての事業を展開している。

関大 563号 目次

本部活動

- 2 **第96回定時代議員会を開催**
平成23年度事業計画と収支予算案を承認
校友総会は10月16日（日）にBIGホール100で開催
天神祭・船渡御（7月25日）「関大丸」乗船者募集!!
第17回海外研修「台湾同窓との交歓と台北の旅」
9月23日から2泊3日で実施 参加者を募集!!
- 5 **東日本大震災に関する関西大学の主な対応について**
被災学生には授業料減免や修学支援助成給付
- 6 **巨大複合災害としての東日本大震災と今後の課題**
——社会安全学部長・社会安全研究科長 河田 恵昭

大学・学生関係

- 8 **6700余人の新関大生誕生—13学部の入学式を挙行**
堺キャンパスB棟が竣工、グランドオープン記念式典を挙行
「本山コレクション」の文化庁登録有形文化財指定に寄せて
——博物館館長 高橋 隆博
- 16 **学校法人関西大学の募金事業について**
被災学生に対する「関西大学特別義援金」のご協力のお願い
サッカー部・一高サッカー部の収支報告
- 18 **きらっ人校友録③⑩ 小説すばる新人賞受賞 安田 依央さん**
- 20 **2011スプリングフェスティバル**
花冷えのなか全国から5000人集う
各団体の総会等開催報告（校友会登録組織の催しを中心に）
- 32 **第17回統一地方選—関大関係者の当選者一覧**
- 34 **北から南から＜各地支部だより＞**
新刊紹介 会と催し 計報

※紙面の都合により、「オース！ごきげんさん。」は休載します。



総合図書館前で“漢舞”の歓迎演舞

草の甲

平成23年3月11日、東北関東地方は未曾有の大地震とそれに伴う津波被害に襲われました。この東日本大震災において、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、また、被害に遭われた皆様や関係の皆様には心よりお見舞い申し上げます▼新聞やメディアでは、連日、震災被害や避難所生活の問題、原発事故や放射能汚染の問題などが大きく採り上げられており、被災された方々の悲しみや苦しみ、さらには国家的規模である被害の甚大さと深刻さを痛感せざるを得ません▼このような中で、方向性の異なる2つの社会的現象が生起しています。まず、一つは、日本のみならず世界中の多くの方々が、被災地に宛てた寄付をしたり、ボランティア支援などの救援活動に尽力しておられること、また、被災地や避難所に暮らす人々の中では、それぞれが日々困窮しているにもかかわらず、限られた生活物資を自発的に提供してそれらを互いに分かち合っており、命を繋いでおられること▼しかし、もう一つは、直接には大きな被害を受けていない地域においても、飲料水や保存食、乾電池などの買い占めが行われ、それら生活物資が悉く販売店から消え去る事態が生じているということです▼前者を賞賛し、後者を非難することは簡単ですが、他人を思い遣る心、自分や家族を守らんとする心、いずれも極限状態における人間の理性や本能に根差した行動であり、時には同一人においてさえも併存する行動原理であることからすれば、それらを軽々に評価することはできません。このような局面において、より強く発揮される人間の善と悪、理性と本能について深く考えさせられました▼震災復興への道のりは遠く、様々な問題の解決にも長い時間を要します。これまでの反省を含め、現在と未来において何をすべきか、何をなささるべきか、各自でしっかりと考えて行動しなければなりません。また、直接に被災しなかった関西には、とりわけ大きな役割が課されているように思われます。今こそ関大校友は一丸となって、各自では賄いきれない役割に取り組み、復興支援に尽力しようではありませんか！

第96回定時代議員会開く

平成23年度事業計画と

収支予算案を承認

第96回定時代議員会が、3月26日午後1時から千里山キャンパス・100周年記念会館で開催され、全国から640余人が出席、平成23年度事業計画案、同収支予算案について慎重審議の結果、原案通り可決承認した。

主な事業計画としては、23年度の校友総会は10月16日（日）午後1時から千里山キャンパス・第2学舎4号館「BIGホール100」で開催される。全国組織代表者会議は開催せず、代わって新しい組織の活性化促進策を実施する。また、恒例事業の天神祭・奉拝船「関大丸」の就航は7月25日（月）に実施。見学会に代わり、今年は第17回海外研修として9月23日（祝）から2泊3日の日程で台湾を訪問することになった。さらに11月中の日曜日が祝日には天満天神繁盛亭での校友落語家による落語会の開催が予定されている。

校友総会は10月16日（日）にBIGホール100で開催

◆◆◆9月23日（祝）から2泊3日で台湾を訪問◆◆◆

開会に先立ち、3月11日に起きた東日本大震災での犠牲者と物故校友に対し黙祷を捧げ、併せて司会者から被災者への義援金の募金呼びかけが行われた。

小寺一矢副会長の開会挨拶、学歌斉唱、来賓紹介があり、寺内俊太郎会長が挨拶。寺内会長はパワーポイントを使い、まず津波に襲われた仙

台空港など被災地の写真と救助活動を行う消防隊員などを紹介。哀悼の意と一日も早い復興を祈り、社会安全学部長の河田教授を紹介。「河田先生はじめ社会安全学部の先生方がマスコミでいろいろと発言されている。本学にこのような先生方がおられることを誇りに思う」と述べた。続いて、サッカーやテニスなど活躍する諸クラブを取り上げ、「学生の活躍はわれわれに感動と

プライドを与えてくれる。母校愛を深めてほしい」。一方、法科大学院の合格者については、「非常に気にしており、それを先生方に訴えていきたい」と述べ、教育・研究・社会連携などの成果を紹介の後、「21世紀型総合学園を目指す母校関西大学の今後の発展・活躍を祈念するとともに、われわれ40万校友は常に母校の動静を注視し、母校の永続的な充

実・発展のため、物心両面にわたって協力・援助することをお願いしたい」と、今後も「強い関西大学を支える元気の校友会」として、大学に協力していくことを表明した。

翌日の復旦大学での上海オフィス開所式に出席のため、挨拶後すぐに空港へ向かう上原洋允理事長と楠見晴重学長は、手短かに挨拶。それぞれ大震災被災者へ哀悼の意を表した後、上原理事は、「今年

の受験生は、厳しい経済情勢、少子化の中で9万人を超え、健闘していると思う。2010プロジェクトが4月から2年目を迎えるが、高槻ミューズ・堺の両キャンパスの学部志願者は大幅に増えた。また併設校もよく善戦している。これからの私立大学はトップ争いが熾烈になる。明日の上



海オフィス開所式をはじめ海外拠点を増やし、国際化も進めていく」と述べ、楠見学長は、「被災地域出身の学生は521人いるが、全員の無事を確認した。震災翌日には対策会議を設置し、学費の減免など被災学生への支援策や、白馬梅池高原ロッジ・彦根荘など本学施設への被災者の受入れ、東北地方大学生の受入れ、義援金の募集など様々な対策をとっている」と震災への対応を説明し、募金など校友の協力を要請した。続いて「上海オフィスを開設する復旦大学は、54協定校の中で最初の協定校である。今後



年号に年頭の挨拶の、5月号に総会案内のチラシを入れていただき、感謝している。特に新年号は住所判明全校友に

発送されており、ありがたかった。財政事情も厳しくなるため、多額の削減になるなら止むを得ないと思うが」などの質問が出され、担当副会長、部長等が応答のあと、両議案とも原案どおり承認した。

加藤拓伊丹支部長より、柿衛文庫で開催の「知と美の集大成」関西大学所蔵名品展につき、組織・代議員等に協力いただいたお礼の挨拶があり、田中義昭副会長が閉会のことばを述べ、終了し

た。

休憩後、同会場で有志による懇親パーティが行われ、石井國男副会長の開宴挨拶、増地英一常務理事の発声で乾杯し、約1時間にわたり懇親を深めた。

なお、休憩時間や帰りには受付に置かれた義援金募金箱に多くの出席者が浄財を入れ、この日の募金額は13万5430円だった。

校友会連携

プロデューサーに

田中久仁雄氏就任



昭和40年 関西大学大学院工学研究科を修了後、石川島

播磨重工業(株)に勤務。平成7年に関西大学工学博士号取得。平成13年、(財)大阪産業振興機構TLO事業部コーディネーターに就任。14年度から関西大学大学院などで非常勤講師として教鞭を振る一方、16年度からは関西大学産学官連携コーディネーターとして、関西大学の産学連携の見える化に尽力。平成23年4月に校友会連携プロデューサーに着任。

天神祭船渡御に「関大丸」が就航 日本三大祭を船上から満喫しませんか



大阪の夏を彩る天神祭。そのクライマックス・船渡御が7月25日(月)夕刻から大川で行われるが、校友会では今年も奉拝船「関大丸」を就航します。

毎年好評で、地元の方々からも温かく迎えられ、地域振興に一役買うとともに、「強い関西大学」を市民にアピールしています。

昨年から、乗船定員を減らし乗り心地にも配慮。装飾も祭提灯やサインパネルを新設、幟の数も増やし、明るく華やかな「関大丸」となりました。

千年の歴史を有し、日本三大祭に数えられる天神祭を、「関大丸」の船上から満喫しませんか。校友、ご家族、お知り合いの皆さまの乗船をお待ちしています。

日時 7月25日(月)夕刻～

参加費 30,000円
(同伴者も同額、弁当・飲物・うちわ等付)

定員 先着160人(ご家族等の同伴を歓迎します)

◎関大丸への乗船をご希望の方は、氏名、卒業年・学部、住所、電話番号(同伴者のいる場合は同伴者名)を記入して、校友会事務局へ郵送またはFAX(06-6380-8476)でお申し込みください(先着順受付、定員になり次第締切)。

◎参加申し込みの方には、後日改めて参加費振込用紙と集合時間・場所等を明記したご案内をお送りします。

関西大学校友会 第17回海外研修 「台湾同窓との交歓と台北の旅 3日間」のご案内

第17回海外研修は、建国100周年の節目を迎える台湾を訪問し、台湾同窓の方々との交流を深めることを主旨に、「台湾同窓との交歓と台北の旅 3日間」として次の通り開催します。校友の皆さんのご参加をお待ちしております。

- ◆旅行実施日 2011年9月23日（金・祝）～25日（日）
- ◆旅行代金 105,000円（大人おひとり様2名1室利用の場合）
- ◆最小催行人員 40名
- ◆募集締切日 7月11日（月）
- ◆申込金 30,000円（旅行代金に充当します）
- ◆添乗員 中国語堪能な添乗員含む、2名同行
- ◆利用航空会社 キャセイパシフィック航空（エコノミークラス利用）
- ◆ビジネスクラス利用の追加代金 60,000円：往復
- ◆一人部屋利用の追加代金 35,000円：2泊分
- ◆食事回数 朝食2回、昼食1回、夕食2回：機内食は含まず
- ◆宿泊ホテル 台北北晶華酒店（リージェントホテル）
- ◆その他必要経費 関西空港施設利用料2,650円、現地空港税（暫定）870円、燃油サーチャージ（2011年4月13日現在）9,220円

※海外空港諸税、燃油サーチャージについては変動する場合がございます。ご出発の25日前頃に確定した金額をご請求申し上げます。

◆旅程内容

日数	月 日	地 名	現地時間	交通機関	摘 要	食事条件	宿泊地
1	9/23 (金)	関西国際空港 桃園国際空港 台北	11:20 13:10 午後 夜	CX565便 専用バス	出国手続き後、空路台北へ 入国手続き後、専用バスにて台北へ 台北101『展望台』を観光 夜は、台湾同窓と交流パーティー	朝：× 昼：機内食 夜：交流会	台北
2	9/24 (土)	台北滞在	終日 夜	 専用バス	終日、自由行動 ※オプションツアー 専用バスにて、夕食レストランへ	朝：ホテル 昼：× 夜：レストラン	台北
3	9/25 (日)	台北 桃園国際空港 関西国際空港	午前 昼 16:05 19:40	専用バス CX564便	朝食後、中正記念堂開門式・龍山寺観光へ 途中、ショッピング（民芸品店）へ 昼食レストラン 出国手続き後、空路帰国の途へ 着後、通関手続きの後、解散	朝：ホテル 昼：小籠包 夜：機内食	

※航空便発着時刻は2011年4月13日現在のスケジュールであり、変更となる場合があります。予めご了承下さい。

※オプションツアー

観光A：世界四大博物館の一つ故宮博物院見学＆忠烈祠衛兵交代式 所要時間8:30～14:00（昼食付）……5,500円
 観光B：『千と千尋の神隠し』の舞台となった九份＆野柳公園・基隆観光 所要時間8:30～16:00（昼食付）……8,800円
 観光C：多くの台湾人から敬愛される日本人『八田與一』が作ったダム『烏山頭水庫』＆台南観光 所要時間8:00～18:00（昼食付）……19,500円
 ゴルフ：東華ゴルフ場（送迎＆昼食付）・・・20,000円（プレー費・キャディ費・カート費・税金込）

【研修企画】

関西大学校友会 電話06（6368）0042
 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館内

【旅行企画・実施】

（株）阪急交通社 大阪団体支店 営業1課 電話06（6361）4781 コース番号；DTDB159
 （営業時間；平日10:00～17:30．土・日・祝は休み）
 観光庁長官登録旅行業第1847号 一般社団法人日本旅行業協会正会員
 〒530-0051 大阪市北区太融寺町3-24 日本生命梅田第二ビル9F
 総合旅行業務取扱管理者：牛山 幸成

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記総合旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので事前にご確認の上お申し込み下さい。

お客様の個人情報はお客様との連絡のために利用させていただくほか、お客様がお問い合わせ・お申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。運送・宿泊機関などへの個人情報の提供について同意の上お申し込みいただきます。

東日本大震災に関する関西大学の主な対応について

(ホームページ掲載記事を中心に)

被災学生には授業料減免や修学支援助成給付 台湾留学生OB会から150万円の募金届く

3月12日 「このたびの東北地方を中心とした大地震による被害に遭われた方に、心よりお見舞い申し上げます。本学関係者の皆様に置かれましては、身の安全を確保するとともに、今後の余震などによる2次災害等に十分に注意してください。なお、本学関係者の安否等が確認できないなどの情報がある場合は、学長課までご連絡ください」のコメントを発表。

3月13日 【被災された在学生・入学予定の皆さんへ】と題し、入学や修学にかかわる各種手続きおよび経済的援助などの支援を検討している旨発表。相談窓口への連絡を呼びかけ。

3月16日 入試センターが郵便送達困難な地域の入学予定者に入学手続に関する情報を掲載。ボランティアセンターが震災に関するボランティア活動情報を掲載。学生センターが課外活動団体などに首都圏・北関東・東北地方への移動に関する注意を喚起。奨学支援に関する情報を掲載。キャリアセンターが首都圏・北関東・東北地方への移動に関する注意を喚起。東京センター利用に関する情報を掲載。(いずれも内容は随時更新)

3月17日 「災害救助法適用地域」で被災した在学生と入学予定者に授業料等の減免措置を発表。

3月18日 災害救済のための義援金募集の口座を開設。協力をお願い(義援金は日本赤十字社を通じて被災地へ)。口座名「関西大学震災義援金、口座」りそな銀行・天六支店 普通008

2522、三井住友銀行・天六支店 普通6937437、三菱東京UFJ銀行・豊中駅前支店 普通0016328、みずほ銀行・梅田支店 普通1354549。募金額は5月6日現在673万5927円。

別に、被災した在学生・入学生への特別義援金募集を実施。趣意書を法人・大学役職者、職員、校友会代議員・各登録組織、教育後援会役職者等へ発送。協力を呼びかけ。募金額は5月6日現在1994万8020円。

3月19日 ボランティアセンター学生スタッフ及びピア・サポーターが、卒業式で募金活動。当日募金額は75万3421円。

3月24日 被災学生・入学予定者への授業料減免等特別措置の詳細決定。申請書を掲載。

3月25日 被災学生・院生に対する履修登録の期間延長等の特別措置を発表。

3月26日 校友会第96回定時代議員会で募金呼びかけ。募金額は13万5430円。ほかに体育OB会(小坂道会長)が総会時に呼びかけた募金や女子秀麗会(仁井ひろみ会長)が会としての募金を校友会に依託(校友会はまとめて大学に依託)。校友会委託分は校友会HPに詳細を掲載しています。

3月27日 織田信成選手の呼びかけで、体育会学生約40人と賛同した高槻市の有志が阪急高槻市駅構内で募金活動。義援金は高槻市を通じて日本赤十字社へ。

3月29日 ユタ大学、北京外国語大学へ留学したばかりの外国語学部2期生が現地で募金活動を行ったことを発表。

3月31日 社会安全学部が、高槻ミューズキャンパスで「東日本

大震災に関する緊急シンポジウム」を開催。地震や津波、原発事故、ボランティアなど各分野を専門とする教員と、行方不明者の捜査活動にあたった高槻市消防本部の職員からの現地での調査報告を行い、その後のパネルディスカッションで今後の対策等について検討した。

終了後は、社会安全学部学生有志による募金活動が行われ、15万8640円が集まり、翌日日本赤十字社に送金した。

4月1日 学部入学式でボランティアセンター学生スタッフ及びピア・サポーターが、募金活動。当日募金額は35万424円。

4月3日 校友会の2011スプリングフェスティバルで募金呼びかけ。バザー等の売上金全額を寄付の団体もあり、募金額は37万3744円。

4月14日 被災学生への追加特別措置として「修学支援助成金」及び「植田特別奨励金」給付を発表。併せて福島第一原発から半径30kmに居住する学生にも特別措置を適用することを決定した。

4月23日 台湾留学生OB会(李銘坤会長)から、「日本3・11災害関西大学台湾留学生OB会義援者名簿(13人)」と、関西大学の一般義援金に100万円、被災学生特別義援金に50万円の計150万円の送金があった。



卒業式での募金活動

巨大複合災害としての 東日本大震災と今後の課題

社会安全学部長・社会安全研究科長 河田 恵昭

関西大学の社会安全学部は、当大学の120周年記念事業の中核プロジェクトとして、昨年4月から発足しました。お陰さまで、皆さまの支援をいただき、トップレベルの教員の下で、昨年は280名、今年度は288名の優秀な新入生を迎えることができました。そして、突然3月11日に東日本大震災が発生し、以来、社会安全学部の教員は被災地支援に全力を尽くしている毎日です。テレビや新聞などのメディアを通して、関西大学社会安全学部の教員が災害対応に協力している様子が届いていることと存じます。本小文では、この震災の位置づけと、今後の課題を紹介したいと思います。

まず、最初は「想定外」という言葉に対する怒りです。確かに、地震の起こり方は従来のプレートテクトニクス理論では説明できないものでした。この理論によれば、プレートの潜り込んだ分だけ、地震時にスリップして動くというものでした。実際には、2倍以上もスリップして、地震マグニチュード9.0の巨大地震になりました。わが国の地震学者は、直後にこの地震の発生過程を想定外であると「サラッ」と言いました。3万人も犠牲者が出ていながら、まるで責任

は自分たちにならないという立場です。このプレートテクトニクス理論はアメリカ合衆国で誕生したもので、決してわが国にオリジナリティはありません。東京大学地震研究所がわが国の地震学を先導し、莫大な予算を使い、挙句の果てにこの言葉が発せられたことに、大変な怒りを覚えます。

つぎに、東京電力福島第一原子力発電所の災害です。これは、地震と津波、そして原子力災害という一連の複合災害として位置づけられるものです。東京電力は、当初から、大津波が来襲したために、原子力発電所の災害が発生したことを強調しました。これは、明らかに情報操作が行われた結果でしたが、メディアはそのことに一切気がつきませんでした。メディアに登場する原子力学者は、災害の実態をよく理解できぬままに、一般的な解説の域を出ず、結果的にはチェルノブイリ原子力発電所と同じレベル7の炉心溶融という最悪の事態を迎えてしまいました。

これだけ被害が拡大した原因は2つあります。それは、津波の浸水によって全電源がダウンしても自律的にDCバッテリーによって8時間は対応



社会安全学部の緊急シンポジウムで報告する河田学部長

応できるシステム（原子炉隔離冷却系）が作動したということです。これによって、燃料棒が格納されたわけです。この8時間という貴重な



時間において、現場の操作員は補助電源確保が最重要・緊急課題であることを忘れ、災害対応に忙殺された結果、大惨事を招いてしまいました。2つは、震度6強の強震動によって、水素ガス漏れ、タンク損傷による放射性冷却水の漏出、そして排水ピットの損傷などが発生しました。決して、大津波がこれらを引き起こしたわけではありません。それをすべて津波のせいにすることによって、53基のわが国の原子力発電所に対する耐震性の不安を、津波を原因とすることによって、矮小化しようとした。

このような背景のもとで、東日本大震災の被害は拡大し、現在に至りました。もちろん現政権の対応のまずさも指摘できますが、歴史時代に入ってから最大の地震災害であることから、混乱が起こるのはむしろ当然であります。批判することで、決して新しい展開が期待できないことを私たちは知らなければなり

ません。現行の災害対策基本法は、今から丁度50年前に施行されました。1959年の伊勢湾台風がきっかけとなって法的な整備が行われました。この法律は、国も私たち個人も貧しい時代にできたために、その立法精神は「二度と同じ被害を繰り返さない」というものでした。これは言い換えれば、被害が発生しない限り、防災・減災のための投資は行わないということです。そして、どのような災害であれ、都道府県知事が中心となって災害対応を行うというものでした。

今回の大震災では、この法律が施行されて以来、初めて緊急対策本部が政府に開設され、菅首相が本部長に就任しました。しかし、霞が関の国会議員には災害の実態が理解できませんでした。彼らが政務官となって現地対策本部のトップに位置し、政治主導の災害対応を行うという試みは当然失敗しました。彼らは政府の代表として、確たる権限も財源もたず、現地に派遣されたわけですから、当然の帰結です。従来の官僚主導が良いわけではありませんが、官僚主導から政治主導への移行期に起こった災害ですから、とりあえず旧に復するのがよいに決まっています。それを敢えて政治主導を強行したために、結果的に災害現場における意思決定が遅れることを招き、物流などは大混乱しました。

大震災から約50日経過した現在、最大の課題は、福島第一原子力発電所の対策の有効性の推移が読めないことです。とくに、今後心配されている余震が地震マグニチュード8クラスである場合、現在の復旧シナリオが机上の空

論になってしまいかねないことでしょう。岩手県や宮城県の被災地の復興は、間違いなく、住民の合意形成の下で、一つの方向に進んでいくと考えられます。しかし、福島県の被災地の復興は、福島第一原子力発電所の被害が、今後どのように展開するかが大きな鍵を握っています。

このような状況下で、大震災の影響が全国に、そして世界中に拡大する様相を見せています。昨年は、中国のレア・メタルの輸出規制が世界経済に大きく影響しました。しかし、今回の大震災によつて高質の産業部品が世界に供給できなくなり、それを代用した工業製品の製造が困難になっています。これは先進国だけでなく、途上国にも影響を与えています。すでに、原子力発電の推進そのものに対する反対だけでなく、近代文明の野放図な発展に対する疑念も深まる一方です。

必要な社会的需要があれば供給を拡大する、という電力供給の発想が初めて「そのようなエネルギー拡大路線でよいのか」という疑問形で問われるようになりました。リニア新幹線のように、45分で東京と名古屋間が短時間で結ばれるのが本当に私たちの社会にとって良いことなのかということが問われ始めました。もちろん答えはそう簡単には見つからないかもしれませんが、このまま技術先導型の近代文明の暴走を止めなければ、私たちの生活が、それは文化と置き換えることができますが、壊れてしまうという恐怖を感じずにはおれなくなりました。それを考える機会をこの大震災が与えてくれました。

6700余人の新関大生誕生 13学部の入学式を挙行

平成23年度学部入学式が、4月1日に千里山中央体育館（新人生）・東体育館（父母）を会場に挙行され、6700余人の新関大生が学生生活の第一歩を踏み出した。

式は、午前10時から文・経済・社会・政策創造・人間健康・総合情報の6学部、午後2時から法・商・外国語・社会安全・システム理工・環境都市・化学生命の7学部の2回に分けて行われ、開式に先立ち、先の東日本大震災で犠

牲になられた方々の冥福を祈って黙祷が捧げられた。

楠見晴重学長は、式辞の前に「大震災で亡くなられた多くの方々に心よりのお悔やみを申し上げます。まだ行方不明の方もおられ、さらに、余震や福島原発事故についても予断を許さないものがありますが、一刻も早く、被災者の皆さまに平穏な日が訪れることを、この大阪の地よりお祈り申し上げます」とお見舞いの言葉を述べた。



式辞では、「関西大学は現在、約3万人の学部学生、大学院生、世界各国からの留学生が学んでいます。教職員の数は約2800人、さらに約40万人の卒業生を輩出し、国内外の各地域で活躍し、地球社会に対して大きく貢献しています。これから皆さんは、この関西大学で多くの知識を学び、多くの人と出会い、人として成長して、先輩たちと同様に、世界に

向かって大きく羽ばたいてほしいと願っています。関西大学には、多くの優秀な教職員をはじめ、数々の特徴的な教育プログラムが用意されています。また体育会、文化会をはじめ多くの課外活動に関わる学生同士の交流の場が用意されています。これらを積極的に活用することで、人格の形成に努めてください。

日本も含めて、アジア、アフリカ地域では、エネルギー資源、食料資源、水資源の確保が大きな問題となりつつあります。また、今回の大震災も同様ですが、地球規模の異常気象、洪水などの人々の暮らしを脅かす自然災害の発生が世界各地で起こっています。これらへの対処も人類社会がこれまで経験したことのない課題です。大学での学びはまさに、このような未知の課題を解決する知力と挑戦する勇氣を身に付けることです。答えの無い、あるいは複数の答えがある問題に対し、自らの頭で考え、そして考えたことを自ら実行する考動力を養うことが必要となります。

また皆さんは、すでにグローバル社会の中の一員です。これからの人類社会の持続的に安心した生活を維持していくために、世界の国、地域の



人々と協力して解決していく必要がありますが、それらに対して、リスクを恐れず積極的に挑戦することが、皆さんに与えられた大きな使命です。そのためには関西大学で学ぶ4年間は的確な判断力、思考力、行動力を鍛えてください。そして、専門知識の習得とともに、国際的精神の涵養と外国語学習の習得も行い、国際人としての素養を身に付けてください」と励ましの言葉を述べ、最後に関西大学の校章を紹介、「戦後、発展を続けてきた日本ですが、今大変な困難に直面しています。この困難は被災地だけの悲しみや苦難ではありません。私たちすべての苦難です。その時に皆さんは関西大学に入学しました。この困難を克服するため、被災地だけでなく、日本

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」「環境」「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO- 9001



ISO- 14001



OHSAS-18001



の将来が皆さんの高い志、知性、行動力を必要としています。今日からの4年間を、この志、知性、行動力を磨く4年間としていただくとともにお願いします」と式辞を結んだ。入学生総代が宣誓、交響楽団とグリークラブが学歌と逍遙歌を紹介して閉式。

大学院も入学式を挙行

3課程に871人が入学

平成23年度大学院入学式が、4月2日に千里山中央体育館で挙行され、修士課程・博士課程前期課程に695人、博士課程後期課程に46人、専門職学位課程に130人の計871人が入学した。

その後、新入生は式場で黒田勇副学長と笹倉淳史学生センター所長から「薬物問題に対する関大の取り組み」「大学生の心構え」を聴いたのち、それぞれの学部に分かれて、学部教育の特徴について説明を受け、関大生としてのスタートを切った。

中で、23年度開設の東アジア文化研究科には22人、ガバナンス研究科には14人が入学した。

東日本大震災で犠牲になられた方々の冥福を祈って黙祷が捧げられたあと開式。式辞に立った楠見晴重学長は、まず犠牲者と被災者にお悔やみとお見舞いを述べ、「今般の東日本大震災は、日本では経験したことのない過去最大級の規模となりました。被災地域には本学の学部学生、大学院生約500人の出身地も含まれています。家族の方が行方不明、あるいは家屋が流失または損壊された方もおられます。また、この地震によって福島原子力発電所が、大変危険な状態であり、原子力発電所では、多くの方々が事故対応に夜を徹してあたってお

られ、その使命感に敬意を表しますとともに、ぜひ無事に復旧作業を完遂されることをお祈り申し上げます。

日本国民、そして日本国自体が、大きな難局に直面しております。関西大学大学院に入学される皆さんは、大学院でこれから身に付けようとする知識、技術は、日本の復興に寄与するものがあると思います。また多くの留学生も入学しましたが、これからの日本の復興に日本の学生たちとともに参画し、また将来の地球社会のためにしっかりと学び、研究に励むことを期待いたします。

一方で、日本人の頑張りに希望を見出すこともできます。2010年6月、小型惑星探査機「はやぶさ」が7年、60億キロもの長旅を終えて、地球に帰還し、小惑星イトカワの微粒子を持ち帰ってきました。日本が持っている技術力の高さ、そして日本ならではのチーム力のすばらしさに、日本国民はもうろんのこと世界の人々が驚きとともに、賛辞を送りました。同じことは、1月のサッカーのアジアカップでの日本代表の優勝にも言えます。「はやぶさ」の成功、あるいはサッカーの活躍に見られるように、困難な状況も

冷静な判断と粘り強い努力で克服することが出来ます。今の日本の難局も必ず乗り越えることができると信じています。若い皆さんには未来があり、明るい未来を実現していくことは皆さんに課せられた責務でもあります。

改めて申し上げます。自己の研鑽を怠らず、精神と身体を鍛えてください。また研究に没頭しがちな大学院生活に

においても、人との出会いを大切にしてください。人との出会いは、新しい本との出会いと同じく、人間を成長させてくれます。日本はもとより、世界で多くの人と出会い、自らを成長させ、充実した大学院生活をおくられることを期待します」と激励した。

その後、各課程の入学生総代がそれぞれ宣誓。学歌を斉唱して式を終えた。

6240人の新学士が誕生

平成22年度学部卒業式を挙行

平成22年度学部卒業式が3月19日、千里山中央体育館を会場に挙行され、6240人の新学士が誕生、思い出の学舎を後にした。

式は、午前10時から法・商・政策創造・システム理工・環境都市・化学生命の6学部、午後2時から文・経済・社会・総合情報の4学部の2回に分けて行われ、開式に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方々の冥福を祈って黙祷が捧げられた。

歌いなじんた学歌を斉唱の後、各学部総代に卒業証書・学位記が授与され、楠見学長が式辞を述べた。

楠見学長は、「日本にとって未曾有の大震災を目の当たり

にし、卒業される皆さんに対しお祝いの言葉を述べるのは控え、激励の言葉を申し上げます」と前置きし、「在学中、皆さんは多くの知識を得ると共に、出会った教員、職員、





友人、先輩、後輩がおられることと思います。これから歩む長い人生では大変貴重な財産となりますので、ぜひ大切にしてください。

また関西大学は今年創立125年となりますが、40万人の校友が国内はもとより、世界で活躍しています。その中には日本国家の近代化を進めるために尽力された方、世界平和のために活躍された方、日本各地の地域発展に尽力された方、学術、芸術、文化の発展に寄与された方、女性の地位向上に貢献された方等、日本はもとより世界のために多大なる貢献をされた方々が

おられます。また現役の企業経営者はじめ色々な分野でリーダールとして活躍されている方々もおられます。関西大学の建学の精神は『正義を権力から護れ』ですが、これらの校友は、関西大学の建学の精神をしっかりと胸に納め、『社会正義』、『国際正義』のために社会に対して貢献されたものと思います。皆さんも関西大学の建学の精神を忘れずに、これから進まれるそれぞれの分野で『よりよい社会の構築』のために力を尽くされることを願っています。

今般の大震災については、私たち関大人は、この苦難を、被災者の方々だけのものではなく、私たちすべてのものとして受け止めております。

私たちは、被災者の皆さんとともに現在の困難を克服し、未来に向けて努力していくことを卒業生諸君とともにお願い申し上げます。皆さん、一緒に頑張りましょう」と饒の言葉を贈った。

卒業生総代が、教職員、友人や家族に感謝の気持ちと、これからの決意を込めた答辞を述べ、卒業生は送歌に送ら

れて式場を後にした。

また、子どもの晴れ姿を見ようと付き添ってきた父母の式場となった東体育館も満席で、出席者は大画面に映し出される式の模様を熱心に見つめていた。

大学院学位記

授与式を挙行

平成22年度大学院卒業式・学位記授与式が、3月22日に行われた。

修士・専門職の学位記授与式は、午前10時から第2学舎BIGホール100で行われ、法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、理工学・工学、外国語教育学、心理学、法務、会計の11研究科と、今年初めての修了生を出した心理学研究科心理臨床学専攻の計12人の総代に学位記が授与された。

修士の学位記を授与された博士課程前期課程修了生は557人、専門職の学位記を授与されたのは、法務研究科が57人、会計研究科が51人、心理学研究科心理臨床学専攻が33人だった。

博士の学位記授与式は、午後に関西大学会館4階大集会室で行われ、38人に博士の学位記が授与された。

堺キャンパスB棟が竣工 グラントオープン記念式典を挙行

昨年6月から建設工事が進められていた堺キャンパスのB棟が竣工。併せてキャンパス環境の整備も完成し、3月14日に上原理事長、楠見学長、寺内校友会会長、水本教育後援会長ら大学関係者、竹山堺市長ほか堺市、地元関係者、工事関係者ら約180人が出席してグラントオープン記念式典が挙行された。なお、式典に先立ち参加者は東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げた。



コンクリート造、地上3階・棟屋1階建て。1階には、約300人収容の食堂（カフェテリア）とコンビニエンスストア、自販機コーナーを設置。2階は7万冊収容、200座席数の図書館閲覧室、3階には最新の授業支援設備を備えた368人収容の教室が2室設置されている。

B棟の建設に併せ、グラウンド南側は人工芝の広場として整備され、周りに植栽を施して、キャンパス環境の整備が完成したが、この堺キャンパスでは地球環境保全への取り組みが行われたのが特徴。竣工したB棟は、各階の底を大きくして日光が直接室内に入らないようにし冷暖房費を軽減。屋上を緑化すると共に外構を中心に6千500本の植栽をし、広場の人工芝と併せてヒートアイランド防止に努めている。また広場、駐車場、B棟の地下部分に雨水貯留施設を設置、集めた雨水は外構植栽・屋上植栽の散水に利用する。ほか太陽光発電やLED照明、断熱性能の高いガラスの使用など様々な取り組みが行われた。

上海オフィスを開所 協定校の復旦大学内に

世界の、特に東アジアのハブ大学構想を進める関西大学では、中国・上海における拠点として、情報発信を積極的に展開し、教育・研究・社会連携活動の紹介、学生募集の広報、中国在住校友との交流などの業務を円滑に遂行するために、協定校の復旦大学日本研究センター内に「関西大学上海オフィス」を開設した。

3月27日に復旦大学日本研究センターで開所式が行われ、泉裕泰在上海日本国総領事から賓をはじめ、復旦大学から許征副学長、鄭勵志日本研究センター名誉理事長、陳建安副理事長・教授、郭定平所長・教授ら16人、関西大学から上原洋允理事長、楠見晴重



学長、池内啓三専務理事、上島紳一副学長、古川好男校友会副会長ら20人が出席。式では「関西大学の国際化の取組」と題して楠見学長が記念講演を行い、日本研究センターと上海オフィスを見学した後、市内の宝隆美爵ホテルに会場を移して、第2部の懇談会が行われた。

復旦大学とは、昭和58年に学術交流協定を締結し、研究者や学生の交流をはじめ各種

シンポジウムの開催等を推進しているが、オフィスには、元交換受入留学生だった現地スタッフ1人を置き業務を推進、また資料コーナーを設置し、学部・大学院および2012年4月開設予定の関西大学留学生別科の留学情報の提供などを行う。

なお、上海オフィスは、「関西大学日本・EU研究センター」に次ぐ2カ所目の海外拠点。

社会連携「関西大学所蔵名品展」 実践の「見学者魅了し好評裡に終了」

3月5日から27日まで3週間にわたり、大学の社会連携実践の一つとして「関西大学所蔵名品展―知と美の集大成」が、日本3大俳諧文庫である伊丹市の柿衛文庫で開催され、約1100人の市民や学生・生徒が来館、好評裡に終了した。

この企画は、2年前に伊丹支部（加藤拓支部長）が立案。伊丹市、柿衛文庫、関西大学との協議を経て実現したもので、「アカデミック関大」を校友および地域社会にアピールすることが最大の主眼であった。

開催に向けての作業は、関西大学・柿衛文庫共同主催と

しての調整、50点におよぶ出品作品の選定、PR用チラシの作成をはじめ、広報活動、募金活動、さらには入場券、図録の作成と多岐にわたった。関西大学の社会連携部、図書



ちは、学芸員の詳しい説明を受けながら本物の文化・芸術品に魅了されていた。

2階ロビーには、原寸大写真パネルによる高松塚古墳の石槨も再現され、世紀の大発見といわれた飛鳥美人に見入る人も。

また、期間中、14日には上方庶民文化史研究で知られる肥田皓三・元文学部教授の特別講演「関西大学の名品を語る」が開催され、会場は前日までの予約でほぼ満席。肥田先生は、軽妙洒落な語り口で所蔵作品を解説され、参加者は熱心に拝聴していた。

今回の本格的な社会連携としての試みが成功裡に終了することができましたのも、携われた皆さまのご尽力の賜物です。衷心より敬意と感謝を申し上げます。そして、今後更なる企画を期待しています。

（校友会副会長 田中義昭）

関西大学所蔵名品展の 剰余金を大学に寄付

「関西大学所蔵名品展」を推進した伊丹支部（加藤拓支部長）では、この企画を成功させるため支援実行委員会を設置して種々の活動を展開した。PR用のチラシを市内在住校友全員に郵送したのをはじめ、地元の小中学校・中学校・高校などにも配布。また校友会の代議員会や近隣支部総会にも持参して広報活動を推進した。

併せて、諸経費捻出のため募金活動にも取り組み、支部役員が積極的に拠出すると共に、知人や校友会代議員、各組織にも協力を呼びかけたところ、個人約130人と約30の法人・団体から浄財が寄せられた。



援実行委員会で諸経費を精算したところ、剰余金が出たため母校に寄付することを決め、4月15日、加藤拓支部長、新原宏副支部長、田中義昭会計監査が上原洋允理事長を訪ね、寄付金を手渡した。

上原理事長は、「今回の企画では、関西大学の名声を広めていただき、更にご寄付まで頂戴し、ありがたく思う。今後もこのような社会連携事業を進めていただきたい」とお礼を述べ、関係者の労をねぎらった。

なお、支部では、剰余金の一部については東日本大震災義援金として募金した。

「本山コレクション」の由来と意義 —文化庁の登録有形文化財指定に寄せて—

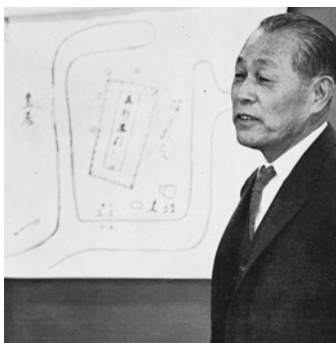
関西大学博物館館長 高橋 隆博

関西大学博物館の所蔵品といえ、なんといっても「本山コレクション」に指を屈する。その学術的価値の高さは、これまで16点が重要文化財に12点が重要美術品として国の指定を受けていることがなによりも雄弁に語っている。

このたび、文化庁は「本山コレクション」（18、945点）を登録有形文化財（美術工芸品部門の考古資料）に登録すると発表した。これによ



本山彦一氏



末永雅雄名誉教授

つて、「本山コレクション」のうち、考古資料のすべてが国の指定文化財、および登録有形文化財となった。今回の文化庁による登録は、美術工芸品（絵画・彫刻・工芸・書跡・古書・考古・歴史）としては11例目であり、考古資料としては、「福井県陶磁器資料」（水野九衛門コレクション）、「飛騨地域考古資料」（江馬修寛集品）について、じつに3例目である。



木村兼葭堂所有の鍔形石

なお、平成18年、「簡文館」（旧図書館、現博物館）が建造物部門で登録有形文化財の登録をすでに受けているので、これで関西大学は2つの登録有形文化財を有することとなった。

「本山コレクション」とは、明治36年、大阪毎日新聞社第5代社長となった本山彦一（大正8年から同11年まで関西大学評議員）が、その生涯にわたって蒐集した考古資料等であり、そのなかには大坂の町人学者として知られる木村兼葭堂が所有していたものや、日本ではじめて開かれた博覧会「大学南校物産会」に柏木政矩（明治政府の官僚）が出陳した石器類、さらには神田孝平（初代兵庫県令、のち衆議院議員）が蒐集した資料をもふくんでいる。本山は、堺市浜寺に「富民協会農業博物館 本山考古室」をつくり、そこに陳列し、収蔵していた。本山は、これら蒐集資料の目録作成を京都大学教授浜田

耕作（号、青陵）に依頼し、浜田は考古学研究室の末永雅雄（関西大学名誉教授、昭和63年度文化勲章受章者）と小林行雄に担当させる。昭和8年には『本山考古室図録』が刊行されるのだが、その前年、本山は鶴首していた精華をついに目にすることなく永遠の眠りにつく。享年80歳であった。本山が鬼籍に入ったのちも、昭和9年に『本山考古室目録』が、その翌年に『本山考古室要録』が相ついで刊行された。

その後、昭和27年（1952）、末永が関西大学文学部教授として迎えられると、本山家から末永に対し、「父が学界に寄与すべく蒐集した資料であるから、できるだけ末永の所属する大学にあることが望ましい」との尊意が示され、末永の渾身の情熱と尽力によって、その翌年から「本山コレクション」が関西大学に移管されることになったのである。

それにしても、関西大学は、本山彦一、そして末永雅雄、この偉大な2人の先生を先達としていただいていることを大いに誇っている。しかし同時に、関大人としては、お2人の衣鉢を真摯に継ぐ覚悟を懷中にしなければならぬ。

（文学部教授）

北嶋教授 精密工学会 フェローにも選任される

システム理工学部の中嶋弘一教授は、3月に開催された公益社団法人精密工学会（会員数約5千人）の社員総会においてフェローに選任された。

同教授の精密工学分野へのこれまでの貢献が認められたもので、一昨年の（社）日本工学会のフェロー選任に続いての認定で、わが国の精密工学分野における今後の先導・発展に対する助言や若手研究者への指導がこれまで以上に求められることになる。



河田教授が東日本大震災復興構想会議委員に選任



社会安
全学部長
の河田恵
昭教授が、
菅直人首

相が「国民の英知を結集する」として4月11日に発足させた東日本大震災復興構想会議のメンバーに選出された。

復興構想会議は、五百旗頭真防衛大学校長（議長）、哲学者の梅原猛氏（特別顧問）など16人で構成され、同会議

15人の先生に

名誉教授の称号授与

関西大学では、名誉教授規程に基づき4月1日付で15人の先生に「関西大学名誉教授」の称号を授与し、3月25日に100周年記念会館で授与式を行った。（敬称略）

▼法学部 土倉莞爾教授、永田眞三郎教授 文学部 上田誉志美教授、島崎守教授、ピーター・ジュリアン・メイキン教授 経済学部 加勢田博教授、楠貞義教授、森岡幸二教授 商学部 加藤義忠教授 社会学部 王耀鐘教授 システム理工学部 内山寛信教授、北嶋弘一教授、樋口誠宏教授 環境都市工学部 室山勝彦教授 大学院心理学研究科 飯田紀彦教授

関大人事

（4月1日付 敬称略）

【役職者】

〔政策創造学部〕 副学部長 岡本哲和（大学院） 東アジア文化研究科長 吾妻重二文学部教授 同副研究科長 藤田高夫文学部教授 ガバナンス研究科長 奥和義政策創造

の下に設置された検討部会での議論をもとに、6月末をめどに第1次提言をまとめることになっている。

学部教授（政策創造学部長との兼任） 心理学研究科心理臨床学専攻長 寺嶋繁典教授 同副専攻長 池見陽教授（東西学術研究所） 所長 松浦章文学部教授（再任）

（先端科学技術推進機構） 機構長 石川正司化学生命工学部教授（再任）（博物館） 館長 高橋隆博文学部教授（再任）

【昇任】

〔法学部〕 教授 飯島暢 准教授 福島豪（文学部） 教授 串崎真志、森部豊（経済学部） 教授 古賀款久（商学部） 准教授 岩本明憲（社会学部） 教授 池内裕美、富田拓郎 准教授 佐藤寛、脇田貴文（政策創造学部） 准教授 内藤友紀（人間健康学部） 教授 岡田忠克（システム理工学部） 教授 浅川誠、谷弘詞、大橋俊介（環境都市工学部） 教授 池永直樹、林順一 准教授 中川清晴（化学生命工学部） 教授 岩崎泰彦、竹下博之（大学院） 会計研究科教授 加藤久明 心理学研究科心理

臨床学専攻教授 北村由美（教育推進部） 准教授 須長一幸

語学・語用論、小嶋美由紀（中国語学、日中対照言語学）（人間健康学部） 教授 小田伸午（健康・スポーツ科学）、黒田研二（高齢者福祉論、医学、公衆衛生学）、涌井忠昭（健康・スポーツ科学）、弘原海剛（運動生理学、運動処方）（総合情報学部）

〔社会学部〕 教授 久本博行（心理学研究科心理臨床学専攻）

教授 中河伸俊（社会学部） 准教授 荻野正樹（認知ロボティクス、米澤朋子（コミュニケーションメディア科学）（社会安全学部） 教授 西村弘（交通論）、廣瀬幸雄（社会心理学、環境心理学） 准教授 永田尚三（行政学、地方自治、公共政策）、林能成（地震学、地震災害、元吉忠寛（社会心理学、防災心理学、教育心理学） 助教 金子信也（労働衛生、メンタルヘルス）（システム理工学部） 教授 宇津野秀夫（機械力学）、山本靖（核融合、エネルギー工学） 准教授 小尻智子（教育システム情報工学）、鈴木哲（人間工学、ヒューマンインターフェース、生体医学） 助教 荒井義和（計測工学）、高橋可昌（材料力学）（環境都市工学部） 教授 木村俊一（オペレーションズ・リサーチ）、小林晃（建設施工） 助教 荒木貞夫（化学工学）、豊田政弘（建築環境工学、音環境分野）（化学生命工学部） 准

【新任】（カッコ内は専門）

〔法学部〕 助教 金玲（商法） 保険法・海商法（文学部） 教授 日高水穂（現代日本語学、方言学、社会言語学） 准教授 ラファエル・ロンベール（アメリカ文学） 黒人文学、映画研究、溝井裕一（ヨーロッパ民間伝承、西洋文化史）（経済学部） 教授 宇都宮浄人（経済統計学） 准教授 稲葉大（マクロ経済学）、小林創（組織の経済学、ゲーム理論、西村雄志（近代アジア経済史）（商学部） 助教 岩崎拓也（会計学）、大木清弘（国際経営論、岡照二（コスト・マネジメント）（社会学部） 准教授 小笠原盛浩（メディア・コミュニケーション論）、小川一仁（実験経済学、進化経済学）、劉雪雁（国際メディア論） 助教 福島宏器（生理心理学、認知神経科学）（政策創造学部） 准教授 杉浦勉（財政学、英国財政論、西澤希久男（タイ法）（外国語学部） 准教授 アンドリュ

教授 葛谷明紀（生物有機化学、生体材料化学）▼助教 森重大樹（金属材料学）「大学院会計研究科」▼准教授 大西靖（管理会計、原価計

算）「大学院心理学研究科心理臨床学専攻」▼教授 阿津川令子（臨床心理学）▼准教授 香川香（臨床心理学）

世界大会優勝者などに大島賞

校友会は会長から副賞を授与

22年度大島賞授与式と体育会覇業披露式が、3月10日に楠見学長、上原理事長、寺内校友会長、小坂体育OB会長ら役員と体育会各部選手が出席して千里山中央体育館で行われた。

体育会の振興及び士気の高揚に資することを目的に、国際大会で3位以内入賞、全国大会で優勝した個人・団体を表彰する大島賞は、昨年度よ

り、これまで顕著な成績をあげた学生・団体を独自に表彰してきた校友会も加わり、受賞者に副賞を授与することによって充実が図られた。

授与式では、2011四大陸フィギュアスケート選手権大会優勝の高橋大輔選手、第25回ユニバーシアード冬季競技大会フィギュアスケート男子優勝の織田信成選手、第7回世界大学空手道選手権大会



女子形で2連覇の梶川凛美選手など国際大会で活躍した11人、第59回全日本大学サッカー選手権大会で優勝したサッカー部など4団体、第79回日本学生陸上競技対校選手権大会女子走高跳優勝の三村有希選手など全日本大会で優勝の9人に、楠見学長から表彰状とメダルが、寺内校友会長から副賞がそれぞれ手渡された。

続いて行われた覇業披

露式では、国際大会8位以内入賞、全国大会3位以内入賞、西日本・関西大会優勝の個人44人と14クラブに、覇業披露賞として楠見学長から表彰状が授与された。

文化会27部が成果を発表 ぶんかふえすていばる開く

「ぶんかふえすていばる2011」が、4月12日から30日まで悠久の庭やKUシンフォニーホール、総合学生会館メディアパーク凛風館などを中心に開催された。

文化会27部が日頃の活動成果を発表する催しで、昭和60年から続けられており、今年で26回目。12日の昼休みに行われたオープニングセレモニーでは、催しの成功を祈って恒例の風船飛ばしが行われ、色とりどりの風船が大空に放た



れた。その後、「関大を彩る文化の心」をテーマに、各クラブの発表に加え、統一企画として、音楽系クラブによる「合同演奏会」、伝統音楽・芸能クラブによる「和のコラボレーション」、芸術系クラブの「合同展示」などが、例年以上の規模で開催され、多くの学生が楽しんだ。

高橋5位・織田6位 フィギュア世界選手権

4月25日からロシア連邦・モスクワで開かれた世界フィギュアスケート選手権大会男子シングルに出場した高橋大輔（M文2）は、ショートプログラムで出遅れ、フリーでは靴のビスが外れるなどのアクシデントもあり、総合5位に入賞したものの2連覇はならなかった。

また、SPで2位につけメダルを狙った織田信成（M文1）は、ジャンプ違反で得点を伸ばせず6位にとどまった。

サッカー部の櫻内渚が Jリーグジュビロ磐田へ

サッカー部のDF櫻内渚（政策4）が、Jリーグジュビロ磐田に入団することが4月7日に内定した。

大阪出るとき
連れてって～♪

たこ焼 明石焼

たこ焼割烹

たこ昌

Takomasa



水上競技部・吾郷が 女子50mバタフライ3位

4月9～11日に浜松市総合水泳場で開かれた2011年度競泳国際大会代表選手選考会女子50mバタフライで、水上競技部の吾郷(みこ)みさき(人間健康1)が3位に入賞した。

一高2年の武井美由季 全兵庫フィギュアで優勝

4月2日に神戸市・ポートアイランドスポーツセンターでフィギュアスケートの全兵庫選手権があり、実力最上位の選手権女子でPIクラブ所属の武井美由季(一高2年)が初優勝を飾った。

射撃部女子の2年連続 5冠達成祝賀会を開催

射撃部の女子は、昨年10月に埼玉県長瀬射撃場で行われた第23回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会で総合団体優勝を飾り、これによって22年度5大会総合団体優勝と

なり、2年連続5冠達成の偉業を成し遂げた。

射撃部と同OB会では、この祝勝会を3月5日に100周年記念会館のレストラン紫紺で開催し、大学から楠見学長、笹倉学生センター所長ら多くの関係者、寺内校友会長、また小坂体育OB会長はじめ関係者にご出席いただき、OB・OG、現役あわせて約100人という盛大な祝賀会となった。



応援団の富田第89代団長の指揮で学歌を斉唱の後、楠見学長と小坂体育OB会長から心のこもった祝辞と激励の挨拶をいただいた。22年度5冠制覇のメンバー、井浦美鈴(文4)、石川令奈(文4)、

堀抜くるみ(社3)、松本靖世(文2)、山川七海(文2)、光畑綾香(文2)、永田聖菜美(外1)の7人を紹介、新主将の園部が謝辞を述べ、第1部を終了。

寺内校友会長の挨拶と乾杯の音頭で祝賀会が開宴、現役は来賓やOB・OGたちと歓談、祝福を受けるとともに来年度の活躍を胸に誓っていた。22年度は、前年度に5冠を達成したことにより、「何としても勝たなければならない」というプレッシャーの中で、新メンバーをはじめ部員たちは年間を通して頑張りぬき、結果を出してくれました。2年連続5冠は、たやすく達成できるものではなく、関西大学体育会の歴史に残る快挙だと思えます。

23年度シーズンは既にスタートしています。メンバーもかなり入れ替わっていますが、原点に戻り、「強い関大」の一員として頑張ってくれるものと期待しています。22年度は男子も全日本学生で総合団体5位に入賞してくれました。男女合わせての活躍を期待し、OB会は一丸となって現役をサポートしていきます。ご支援をよろしくお願いたします。「頑張るぞ関大」「頑張るぞ射撃部」。(OB会長 女川 隆)

関西大学校友会 会員様 特別企画

関電SOSホームセキュリティ レンタルプラン

[ベーシックメニュー]の場合

初期費用 **39,900円** が

買取プラン[ベーシックメニュー]の場合 初期費用236,250円が ▶ **196,350円**

ベーシックメニュー構成

- コントローラー
- パッシブセンサー×2
- 非常ボタン
- ステッカー×4

サービス内容

- 警備員の駆けつけ
- 警備状態の遠隔操作
- 携帯電話等へのメール通知(3箇所)
- ガラスドア鍵取替費用補償

キャンペーン期間: 2011年6月30日(木)まで

サービス提供エリア...大阪府全域、京都府南部、奈良県北部、兵庫県南部、滋賀県南部(草津市周辺)
*一部地域を除きます。詳しくは関電SOSホームページをご覧ください。

★★入って さらに おトク!★★

期間中ご成約の方にもれなく

JCBギフトカードをプレゼント!!

20,000円分

※ギフトカードの発送は、サービス開始月の翌々月下旬となります。

※他の割引との併用は不可とさせていただきます。
※価格はすべて税込みです。
※新築住宅の場合初期費用に別途費用が加算されます。

今すぐお問い合わせ下さい!

日本パナユーズ株式会社
千里山キャンパス警備実施会社

0120-187-505
受付時間 9:00~17:00 (日・祝祭日除く)

学校法人関西大学の募金事業について

校友の皆様方の温かい

ご支援をお願いいたします

本法人は、教育研究諸条件の整備並びに奨学事業をはじめとする各基金の充実を目的とするため、かねてから学内外の関係各位にご援助を仰いでまいりました。

事業等へのご支援をお願いするものであります。

ここでは、恒常的募金の柱となる二つの募金について簡単に説明させていただきます。

1 学の実化促進募金（教育研究促進募金）

平成23年度も募金計画の二本柱である「学の実化促進募金（教育研究促進募金）」と「『考動』する関大入育成募金（給付奨学金等募金）」を中心に、本学の教育研究をはじめとする諸活動を充実させるための募金活動を行ってまいります。

「学の実化促進募金」は大学、高等学校、中学校、小学校のご父母・保護者の皆様に「学の実化」の理念に基づき、母校の教育研究のさらなる促進に向けてご寄付をお願いするものであります。

また、『考動』する関大入育成募金」は法人・団体・個人に対し、本学が掲げる長期ビジョン「KU Vision2008-2017」に基づいた人材育成のための奨学

2 「考動」する関大入育成募金（給付奨学金等募金）

解決につながる応用力と柔軟な思考力の醸成を推進し、情報化・国際化に対応する新しいリテラシーの獲得、実験・実習やディベートなど実践的なカリキュラムによって、真に有為な人材の育成に力を注いでまいります。

皆様方のご芳志をもとに教育研究をはじめとする諸活動をさらに充実させてまいりたいと存じます。

平成20年7月に、「KU Vision 2008-2017」～学校法人関西大学の長期ビジョン（将来像）～を策定しました。めざすべき方向性として、「社会を見つめ、変化に挑む。『考動』する関大入が世界を拓く。」を掲げ、「考動力」あふれる人材の育成拠点をはじめとする「ビジョン5項目」を策定しました。学園の持てる教育力を最大限発揮して、生徒や学生たちに「考動力」すなわち「自らの頭で自主的によく考え、自立的かつ積極的に行動する力」を身につけさせ、社会や世界をリードする人材を輩出してまいりたいと存じます。

皆様方のご芳志をもとに給付奨学金事業等を行い、「考動」する関大人を育成してまいります。

今後、校友の皆様にもご支援をお願いさせていただく予定にしております。

名 称	目 的	使 途
学の実化促進募金 (教育研究促進募金)	関西大学の学是である「学の実化（じつけ）」の理念に基づき、教育研究活動をさらに促進する。	(1) 教育研究に係る経常的経費に充当 (2) 教育研究環境に係る施設設備の整備充実
「考動」する関大入育成募金 (給付奨学金等募金)	「KU Vision2008-2017（長期ビジョン）」が掲げる「社会を見つめ、変化に挑む。『考動』する関大入が世界を拓く。」に基づき、給付奨学金事業等により、関大入を育成する。	(1) 基金の運用果実による給付奨学金事業等に充当 (2) 拝受した寄付金を直接対象事業に充当

ますが、その際は、本募金の趣旨をご理解いただき、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【問い合わせ】

学校法人関西大学

財務局 資金課

TEL 06-6368-1137

関西大学の被災学生に対する 「関西大学災害特別義援金」のご協力をお願い

東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震により、多くの皆様が被災されました。心からお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興をお祈りいたしております。

関西大学の在学生・新入生も被災され、本学では授業料等の減免などできる限りの措置を講じているところであります。

被災された関西大学の在学生・新入生の学業等を支援するため、本学の被災学生に対する「関西大学災害特別義援金」を、現在、本学の理事、監事、評議員、顧問、職員、校友会代議員、教育後援会・千寿会委員の皆様にご募集しております。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

この義援金は、修学支援を目的とした恒常的募金（学の実化促進募金）として受入れることにより寄付金控除の対象となります。この義援金にご協力いただいた方には、後日、本学発行の領収書と寄付金控除を受けるために必要な証明書をご送付いたします。

このほか、被災された一般の方々を支援するための「関西大学震災義援金」も本学のホームページにて募集しており、この「関西大学震災義援金」は日本赤十字社を通じて被災地にお届けし、救援活動や復興支援活動に役立てていただきます。

また、ボランティアセンターにおいては、本学学生が主体となって募金箱による募集活動も行っております。

ご支援・ご声援ありがとうございました

昨年度、本学園課外活動団体の主要大会出場に際しまして、関係各方面にご支援・ご協力をお願いしましたところ、多数のご厚志を賜りました。

ここに、あらためてお礼を申し上げ、次のとおりご報告いたします。

サッカー部全日本大学サッカー選手権大会出場及び祝勝会開催に伴う収支報告



総費用は12,710,616円となりました。皆様方から拝受したご厚志（6,175,000円）は、選手遠征費用・応援費用などに充当させていただきました。

(単位：円)

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
募金・寄付金等	6,175,000	選手遠征費用	3,000,000
課外活動助成資金	3,605,616	応援費用	4,879,706
祝勝会会費	2,930,000	祝勝会費用	4,830,910
合 計	12,710,616	合 計	12,710,616

関西大学体育会サッカー部支援後援会

第一高等学校サッカー部全国高校サッカー選手権出場に伴う収支報告

総費用は23,755,997円となりました。皆様方から拝受したご厚志（9,664,395円）並びにサッカー部OB会・保護者会からのご支援は、選手遠征費用、サッカー用品・諸費用及び応援費用に充当させていただきました。

(単位：円)



収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
募金・寄付金等	9,664,395	選手遠征費用	9,078,441
サッカー部OB会・保護者会からの支援金	5,900,000	サッカー用品及び諸費用	3,613,050
大会主催者からの補助金	1,813,940	応援費用	11,064,506
応援生徒参加費	2,600,000		
スポーツ振興積立金からの補助金	3,000,000		
教育等助成資金	777,662		
合 計	23,755,997	合 計	23,755,997

関西大学第一高等学校全国高校サッカー選手権大会出場後援会

まよと

校友録

Kandai Kiratto

Part 30

「これが最後になるかもしれない」。そう思っ
て書いた『たぶらかし』で第二十三回小説
すばる新人賞を受賞した安田さん。本作は投稿
七作目にあたり、受賞までの道のりは七年。最終
候補での落選を二度経験し、原点に戻って勝負を
かけたこの作品には、安田さんが音楽活動をする
中で自分の殻を破るために通ったという演劇学校
での経験が生かされています。今後の作家活動へ
の意気込み、テーマの根底に流れる死生観について
うかがいました。

畑違いに見える支流から いつしか二本の本流に

安 田さんはミュージシャンを目指し、関大入学
前から音楽活動をしていました。女性だけの
暗黒系ロックバンドで作曲・編曲・演奏・ボーカ
ル全てをこなしていたとか。時代はバブル期。女子
大生といえばボディコンシヤスなファッションが主流
だった時代に、お尻まで届く長い髪に黒のロング丈
ドレス、黒のレース手袋をはめて授業に出席。「法
学部は授業ですから目立っていましたよ。『そう言
えばヘンな人がいた』と思ひ出す人もいるんじや
ないでしょうか」と笑います。この全身黒づくめの
ファッションは、音楽同様に安田さんの主義・主張
の現れだったそうです。

卒業後は就職をせず、音楽活動を続けながら
演劇学校に二年間通いました。「私は熱く語るの
が格好悪いと思っていたので、本心を押し隠してク

居はできないんだということに気付く、自分を見
つめ直すことで日常生活にも大きな変化がありま
した」と語ります。ところがミュージシャンとして
はなかなか芽が出ません。既に三〇代後半でした。
安田さんは音楽活動を継続しながら、会計事
務所で働き始めます。二つ目の会計事務所で「司
法書士資格を持つているなら、ここでやたらどうだ
」とすすめられ、事務所内で司法書士としての仕事
をスタートさせました。そして二年目の二〇〇五年、
安田司法書士事務所を開設することに。「独立し
たのはいいけれど資金面や人脈の開拓など、ほぼ
ゼロからだったので大変でした。異業種交流会にも
参加したりしましたが、実際に人脈が広がったの
はNPOを立ち上げてからなんです」。

安田さ

んは独立
後、特に
遺産相続
や遺言に
関する分
野を主軸
にしたい
と考えて
いました。
すると幸
運にもそ
ういう相
談が集中
的に来る



▲小説すばる新人賞の授賞式(2010.11)

ールに装っていました。
でも、それが自分の表
現の幅を狭めているん
じゃないかと思えてき
て、殻を破るために演
劇学校に通いだしたん
です。そこで、本当の
自分を見極めないと芝

ように。「仕事をしていて強く思ったのは、亡くな
つてからでは遅いということでした。クライアントの
話を聞いていると、法律家の私たちが常識だと思
っていることを全く知らないんですね。そのことに
すごく驚きました。まるで大きな川を隔てるほど
に認識がかけ離れていたんです。遺言状や遺産相
続はお金持ちだけのものじゃなく、尊厳死や誰に
何を伝えたいかなど、自分が亡くなった後のデザ
イン、つまり、意志のある死の準備なんだという
ことを、市民レベルに情報発信する必要があると
いうことでした」。そこで、安田さんは意志的に
死の準備を実現するためのシステムを作ろうと『終活』
を提唱し、NPO法人デセオ(生と死を考え、将
来設計を実現する会)を立ち上げたのです。

最期に着たい服を通して 残る人へのメッセージを考える

N PO法人デセオはセミナーを中心に『終活』
を奨励しましたが、思うように広まりま
せんでした。『終活』はより良く、より自分らし
く終わるための活動です。多くの人が自分の死後
についてほんやりとした不安を持つており、セミナ
ーへの参加者は多いのですが、その一方で具体的に
何をどうすればいいのかわからない。自分の最期
について書き記すエンディングノート必要性を理
解できても、自分の死後をイメージして書くこと
ができない人が大半なのだそうです。「書けないの
は自分の死後を客観的に考えられないから。その
ためには、自分自身と向き合う作業が必要です。
考えられないことを考えるための方法を考えよう
という発想から、最期に着たい服を着る『終活ファ
ッションショー』を企画、開催しました」と安田さん
は言います。ファッションショーでは二十代から七十
代までの男女が、それぞれ最期に着たい服に身を
包み、舞台を闊歩。二百人の観客は、最期に着
たい服というテーマを通して老い方、病み方、死に方、

受賞後の長編書き下ろしは『終活』がキーワード

『たぶらかし』あらすじ…三十九歳のマキは、依頼人の代役を演じる女優。新妻からセレブな母親、何と死体役まで役柄は多岐にわたる。依頼人たちの身勝手に翻弄されつつも、人との関わりを通してマキの中で忘れかけていた何かが変化してゆく…。



2011

スプリングフェスティバル



**売上全額を
募金の団体も
淡路支部が
テントに初参加**

総合図書館前からのメインストリートに並ぶテントブースは、昨年より更に増えた。お馴染みの吹田支部、女子秀麗会、一高同窓会、尼崎支部、西淀川支部、コイルテクニカOB会などのテントがズラリと並び、朝取り野菜で人気の橋本支部は3年連続出店。新たに淡路支部が貸切バスに地元物産や淡路島PR品などを

積み込んで参加した。今年の特徴は、各テントとも東日本大震災復興支援のため募金箱を設置、売上金の一部も加えて義援金として寄付した。中でも「ラポッポ」でお馴染みの白ハト食品工業（永尾俊一社長）の協賛を受けた事業部テントや吹田支部などは、売上金全額を義援金として募金した。

一高同窓会のテントでは今年も行列。つきたてのきな粉餅が配られるとおいしそうに頬張り、温かいぜんざいで花冷えの体を温めていた。前で

野点・俳句・寄席も盛況

悠久の庭に設けられた野点会場。早くから多くの参加者が訪れ、お点前でもてなす茶道部員は大忙し。今年も茶菓子が無くなり午前中での終了となった。「春の俳句大賞」を募集した隣の「俳句コーナー」には、常連さんが顔を見せ、一句二句と投稿。歓迎演舞を終えた漢舞も揃って句作に励んでいた。また、凜風館で行われた落語大学学生による

12時40分、総合図書館前から応援団旗を先頭に中央グラウンドに向けてパレードが始まった。団旗の後ろにはチャールズが持つ「がんばろう日本！」の旗印に、東日本大震災の被災者の皆さんを応援しますの横断幕が続き、寺内俊太郎会長と副会長、さらに応援団、漢舞約100人が行進した。

午後1時、中央グラウンド

**「がんばろう日本！」
旗印に
絆を深め
復興に尽力誓う**

創立100周年の年に、充実・発展する母校の姿を校友に見てもらおうと始められた校友会の一大イベント「2011スプリングフェスティバル」桜の母校によつといふは、創立125周年の今年も大学の全面的な協力を得て4月3日の日曜日に千里山キャンパスで開催された。

16年前の平成7年、阪神・淡路大震災の時は、「こんな時こそ、青春時代を過ごした母校で元気を貰いたい」との被災校友の声にこたえて開催、26回目を迎えた今年は、正門アーチの両側面に「東日本大震災で被災された皆様に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます」「私たちが関大人は、被災者の皆様とともにこの苦難を乗り越え、共にがんばることを誓います」の2枚の垂れ幕が掲示された。

花冷えというには少し寒すぎ、桜も2〜3分咲きだったが、この日母校を訪れた校友とその家族は、関東から四国、九州など遠隔地も含めて約5千人。教室等で総会や懇親会、現役OB交流会などを開催した団体も昨年同様70団体を越え、あちこちで「確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！」のスローガンを実践する姿が見られ、中央グラウンドでは、応援団の演舞・演奏に熱き血潮をわきたたせ、明日への活力を貰っていた。

花冷えのなか全国から5千人集う
応援団の演舞演奏に明日への活力貰う

「サクラ寄席」。室内のため担当役員がチラシを配って呼び込みを行い、開演時にはほぼ満席になり、熱演する学生の落語を熱心に聞いていた。



で歓迎セレモニーが開会。まず、東日本大震災の犠牲者に対し謹んで黙祷を捧げ、寺内会長が主催者挨拶を行った。

寺内会長は「2千年以上の日本の歴史を振り返ると、楽しい時、悲しい時に、関係者が一堂に会して絆を深め、そ

れに立ち向かうというのが祭りの一つの形だと教えられた。その通りだと思う。そこで今年はずがんばろう日本！」を旗印に開催させていただいた。多くの方に参加いただき感謝している。本日の催しで校友の絆をさらに深めていただきたい。そして、この

国難に対して関大人として何ができるか考えていただく、いい機会だと思う。

津波の後の被災地の映像を見た時、教科書に掲載されていた終戦直後の荒廃とした東京の写真を思い出した。当時は日本全国が焼け野原になっていた。そこから日本人は立ち直った。今回、被災地は東北地方に限られるが、私たちは3月11日までの生き方と違った生き方が求められているのではないかと。東北地方の方々そこで頑張っている校友に思いを馳せ、われわれが培ってきた母校愛・絆を基に、復興のために力を合わせて頑張りたいと思う。強い関西大

学を支える元気な校友会の元気を義援金に代えて、わが国の再建に協力していきたい」と開催の主旨を述べた。

上原洋允理事長は「寺内会長の話に同感である。阪神淡路大震災の時、私も近畿弁護士連合会の会長として、近畿各地の弁護士に協力いただき被災地で毎週日曜日に身の上相談、法律相談を行った。日本には英知に富んだ国民が大勢いる。必ずや困難に打ち勝って、東北方面に新しい息吹が生まれるよう、祈っている。

4月、大学に約6千800人、大学院に約9000人の学生が入学し、われわれの後輩として勉強を始めた。学部入学式には約5千人の父母も参加し、父母の期待は大きいものがあるが、きちんと応えていきたい。2010プロジェクトが昨年完成し、高槻ミュージズ、堺の両キャンパスも順調に2年目の入学生を迎えた。また、1月15日には南千里駅近くに建設する南千里国際プラザの地鎮祭を行い、3月27日には復旦大学の日本研究センター内に上海オフィスを開設し、その開所式を行うなど、国際化の路線も推進している。数年の間には、600余人の留学生を2千人にしたい構想を持っている。これからが正

念場で、財政基盤の強化と学生の質の向上、教育の充実を進めていく必要がある、校友の皆さんの物心両面に亘るご支援をお願いしたい」と述べた。

楠見晴重学長は「関大には関東以北出身の学生・院生が約520人おり、3月12日から安否確認を進めた。約10日間で全員の無事を確認できたが、実家が流失したり、損壊した学生もいた。一方、本年入学する学生は数十人いたが、4月1日の入学式に全員参加でき、ホッとしている。大学としては震災直後から被災学生支援のため対策会議を設置して、学費の減免など種々支援策を進めている。また、大学として一般の被災者、被災学生への義援金を募集しており、校友の皆さんの温かいご支援をお願いしたい。

先程、理事長も話されたが、関西大学は、これから世界の特にアジア地域を中心とする大学として展開、成長していく必要がある、国際化は急速に進めていかなければならないと思っている。復旦大学に上海オフィスを開設したが、更にタイのバンコク、ベトナム・ハノイ、台湾・台北、またインドネシア、インドなどに海外拠点を設ける計画で、現在調

査中のところもある。国際化は、単に留学生を増やす、学生が海外に出て行くということではなく、関大自身が国際標準の大学として展開していく必要がある、大学の中も国際化を進めていかなければならない」と抱負をのべた。

挨拶の後は、学生ダンスサークル・漢舞と応援団リーダー部・バトンチアリーダー部・吹奏楽部の演舞・演奏を楽しみ、ひととき学生時代にかえり、明日の活力を養った。

**貴重な展示を熱心に見学家族連れで
進学相談も賑わう**

大学の協力で各施設も開放され、総合図書館では春季特別展「大坂文人の世界―江戸時代を中心に―」を、博物館では春季企画展「本山コレクションの由来」を、年史資料展示室では企画展「目をはなすな、手をはなせ―久井忠雄没後20年記念展―」をそれぞれ開催。参加者は、珍しい貴重な資料の展示を熱心に見て回っていた。

新関西大学会館北棟で行われた「校友親子の進学相談」も、多くの校友・家族が訪れ、大学をはじめ併設学校の教員・職員が熱心に対応した。

2011

スプリングフェスティバル



今年も専用テントブースを設置し参加した。前日までの暖かさとは打って変わった花冷え。桜も2分咲きで人の流れが例年より少ない中であつたが約30人の支部校友が集つた。東北関東大震災で日本全体が悲しみに包まれる中、「復興に向けて関西から一日も早く日常を取り戻すことが大切」という大角支部長の挨拶で懇親が始まった。ブースでは恒例の「本場手作り水餃子」と今年新たに地元「尼崎銘菓せんべい」を販売するなど支部のPRと校友との懇親を深めた一日であつた。

(支部広報 松本勝憲)

支部のPRと

親睦深める

— 尼崎支部



第2学舎ゼミ棟B306教室で、役員26人で拡大役員会を開催。22年度事業・会計報告並びに23年度予算案・活動計画案等について熱心に討議。途中、寺内校友会長から挨拶をいただき、会に花を添えていただいた。

昼食後、桜をバックに記念撮影し、歓迎セレモニーに参加。応援団の演奏演奏に若いエネルギーをいただいた。

学舎の変貌ぶりに驚きながら学内を散策後、近くの居酒屋にて恒例の懇親会を行い、更なる親交を深めた。

(副支部長 仲西忠)

26人で拡大役員会開く

— 川西支部



阿部支部長以下8人が関大前駅に降りた。40年ぶりの登校だ。エスカレーターを乗り継いで生協食堂に入る。500円の定食と全員缶ビールを注文する。「学食でビールを売ったらあかんぞ」などと言いながら3缶も飲む。

OB会が並ぶ第2学舎でマジックを披露しながら表敬訪問を行う。茶菓子既に無くなつてしまったという野点も楽しんだ。

式典で、校友会会長、理事長や学長の震災復興を使命とする力強い挨拶を聞いた。応援団や漢舞の演技が心に響いた。現役時代に戻ってしまった。帰りは身も心も若返り全員が駅に着いた。悠久の庭で俳句を応募したのを一句。

他団体にマジック披露

— 枚方支部



今年も、婦人部・青年部によるガレイセールを行った。今年の売上金は、全て「関西大学災害特別義援金」に寄付された(金額27,620円)。

今年はやや肌寒かったためか例年に比べて来訪者が少なく、若干の売れ残りはあったものの、今回初めての試みである青年部の手づくり肉まん・角煮まん・あんまんや、毎年恒例の吹田支部有志による片口いわしの丸干しの販売は、午前中に全て売り切れてしまうほどの盛況ぶりだった。

売上金を

義援金に寄付

— 吹田支部

関大の 魂をみた フェスティバル (副幹事長 赤井克也)

婦人部5人と青年部3人の有志と、正・副支部長並びに正・副幹事長に加え、今年卒業したばかりの新社会人から58年先輩の顧問まで、幅広い世代が協力し合い、新しい春を踏み出した1日でした。

(青年部 山中久司)

今年も家族同伴で参加

— 豊中支部

今年も役員を中心に家族同伴で参加を呼びかけた。結果は毎年参加の顔ぶれが多い中、いつもの様にそれぞれが同期会・クラブOB会に掛け持ち参加とあつて第2学舎B206教室は人の出入りが多い。近年毎回参加されていた先輩が3人、昨年来亡くなられ少し寂しさを感じる。

生協に事前予約した幕の内弁当と缶ビールで懇親会のスタート。家族のことや地域、大阪府会や豊中市会議員選挙、東日本大震災の恐ろしさなどの話題で盛り上がり。

神保支部長を中心に支部活動のあり方や、どうすればもっと若い会員が参加するか等話し合う。

記念写真の後、野点や俳句など、キャンパス内を見て回り、中央グラウンドで催された



平野支部との合同の集いに参加、心温まる計らいにより充実した一時を過ごした。
その後、キャンパス内の散策を行い、今月実施される國下支部長の藤井寺市長再選を語り合った。今回は非とも再選を果たし「小さくともキラ

國下市長の再選語る

— 藤井寺支部

セレモニーに全員参加した。

（幹事長 横山正秀）



りと光る藤井寺町づくり」を更に進めて貰いたい。

学内にある藤井寺ゆかりの関大の中興の祖・山岡順太郎先生の胸像の前で記念撮影を行い、感動した。千里山キャンパス、ここは私たち関大人にとって最良の故郷であり、魂の源である。

（副支部長 山田正雄）

母校の桜に力もらう

— 東淀川支部



関大に足を踏み入れると気分は瞬く間に学生時代に帰ってしまう。母校にはそんな不思議な力がある。阪神大震災の時も、そして今回の東日本大震災の時も満開の桜から明日に向う力を貰ったような気がする。

スプリングフェスティバルで毎年、学生時代に帰って皆の

絆を深めてゆければと思う。

卒業以来、初めて大学に来た方もおられ、多忙な中、皆でひと時を共有できたことは有意義であった。美味しい関大生協のお弁当と楽しそうな皆の笑顔、また一つ貴重な思い出が増えた。

（岡田美由記）

2度目のテント出店

— 西淀川支部



昨年に引き続きスプリングフェスティバルに会場された皆様にジュシーなフランクフルトと飲み物を提供させていただきました。

早朝にテントに集合、東日本大震災への思いを胸に黙祷の後、準備に取りかかった。

お子様にはジュースを無料で、食材、飲み物は原価を割って提供させていただいた。

六壱副会長、長谷部副会長、西山幹事長、石田副幹事

長、乾副幹事長を中心に奮闘、用意した食材は昼過ぎには全てなくなり大成功でした。

西淀川支部では若い校友を中心に、今後も会員増強を目標として多くのイベントを企画していきます。

（副幹事長 河野賢治）

スタンド最前列に

— 西成支部



吉村支部長以下9人で参加した。教室で弁当を食べながら、かつて学生だった頃の学内と、現在の立派な教室が立ち並ぶ学内との比較に始まり、当時の学費の話等々さまざまな年代の立場から話に花が咲いた。

その後、悠久の庭で茶道部学生のお点前の接待を受け、豊臣期大坂図屏風復元陶板、高松塚古墳壁画再現展示室とまわり、午後1時に中央グラ

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪 (6481) 8807 番(代) FAX (6482) 7172
東京営業所 〒177-0033
東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京 (3904) 1521 番 FAX (3904) 3430
ホームページ <http://www.kyouei-d.co.jp>

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!
関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル ナカノ TEL 06-6702-8624
ホームページ <http://www.bridal-nakano.com/index.htm>

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子



経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員



2011

スプリングフェスティバル

ウンドの最前列に陣取って校友会長、理事長、学長の挨拶を拝聴し、最後の逍遙歌の合唱で新旧校友の絆が一層深くなったように感じられた。

〔花岡 宏〕

恒例のマジックショー

を開催

— 大阪中央支部

午前11時半から、第2学舎教室で19人が参加して家族懇親会を開き、お弁当の昼食の後、毎年お馴染みの斉城一座によるマジックショーが行われ、本格的なマジック3種類が披露された。種明かしと手品道具のプレゼント、そして冗談に一堂大いに盛り上がった。

記念撮影後、歓迎セレモニーの行われる中央グラウンドに移動し、楽しい一日を過ごした。
〔広報 岡田恭典〕



藤井寺と合同観桜会

— 平野支部

年に一度、ただ母校に会いに来るだけなのに、何故かスーッとネクタイ姿。その理由はきっと、キャンパスで一番ジーンズが似合わなかったあの頃の自分に、じゃ、これだ？と胸を張ってみたいからなのかもしれません。平野支部観桜会は、藤井寺支部と合同で新ゼミ棟B302教室にて行われました。例年と大きく違ったのは、藤井寺支部に加え、富田林支部と尼崎支部からのご参加もいただき、賑やかさもひとしおだったこと。様々な打ち合わせでは、富田林支部主催・8月1日のPL花火大会への、バスをチャーターしての平野支部の参加と共に、河内若手会の参加



俳句コーナーから

花冷えの庭にて一句

当日は曇天も相まって、悠久の庭のなんとも寒かったこと！ただ、心配していた桜は、幸いにも7〜8分咲きで、訪れた校友を歓迎してくれているようでした。

では、今年のおすすめ俳句を紹介します。

3月11日、国難とも呼べる東日本大震災で被災された方たちの身の上を案じ、一時も早い平穏を祈る句がたくさん寄せられました。

震災地 桜咲け咲け 祈ります

釜石で 桜咲くのは まだ先だ
加茂千栄子（お孫さんが4回生
ががんばろう 東北に届け この桜
池田 香（校友の夫人
佐々木拓馬（文学部3回生

これは、津波で家が流されてしまったという佐々木君の句です。本人は元気にがんばっています。ファイト！



俳句コーナーには、

毎年作句を楽しまれる常連さんのおいでです。その中のお一人、坂本さんは28年卒の91歳、59歳の時、旅行先の宮古市田老で知り合った方が、この度の震災で亡くなったとのことでした。ご冥福をお祈りします。

みちのくに 逢ひしその人 春に死す

坂本寿栄子（28年文卒）

若手の常連さんは漢舞の男子たち。いつも大勢で訪れ、ワイワイと作句していきます。昨年12月に開催された「よさこい甲子園」では100チームの中から見事



優勝を果たし、話題になりました。

渾身の ソーラン節に 桜舞う

堀 幸平（法学部2回生）

昨年、〈優秀賞〉を獲得した中川弘さんは、秀麗寮士会に出席のかたわら俳句コーナーへ「初めてつくった俳句が優秀賞に、嬉しくて今年も来ました」とのこと。さて、今年はいかに？



学び舎に 老いも集いし 花うたげ

中川 弘（37年商卒）

では、最後に「花冷え」三句。

花冷えも 再会の輪に 熱帯びて

北村修二（46年文卒）

花冷えに 被災地の寒さ 憂う日々

三木允子（42年文卒）

花冷えに 集う仲間の 暖かさ

松野千尋（53年文卒）

〔広報部 西野京子〕

なお、今年の「春の俳句大賞」入賞作品は、審査の結果、次のとおり決定した。

〈大賞〉

花冷えに 被災地の寒さ 憂う日々

三木允子（42年文卒 西宮市）

〈優秀賞〉

花冷えに 集う仲間の 暖かさ

松野千尋（53年文卒 東大阪市）

〈佳作〉

古希翁が 角帽被りて 春フェスタ

岡本俊彦（37年法卒 貝塚市）

花冷えに みちのくの春 待ちわびて

山本淑子（53年文卒 芦屋市）

格別に 感謝して見る 今年（この）桜

池田 香（大阪府）

も即決。テンポよく進む観桜会に、「来年も一緒にやりましょ」との声も。また、終わりがけには当平野支部・佐々木高子先輩、向賀子先輩も会場に立ち寄ってくださり、参加者からは新たな支部校友との出合いに感激の声が上がりました。
〔長野隆哉〕

3支部合同お楽しみ会

―城東・旭・鶴見支部

参加者13人全員の挨拶のあと、お楽しみ会を開始。城東支部の竹本氏お得意のビンゴゲームの開始。ところが「ビンゴのカード忘れましてん！」。でもある出席者のバッグから真新しいビンゴのカードが魔法のように出てきた時の竹本氏の安堵した顔！彼は無添加建材の専門家。ビンゴの景



品もそれに因んだ健康志向のものばかりで大好評だった。

続いて鶴見支部の迫氏の紙芝居クイズだ。「ものまねじいさん」から「今の絵の中に何本の指が描かれていたでしょうか？」なんて、変なクイズばかりで大爆笑。あつと言う間にランチタイムに。和気あいあいの内に、今年も楽しい一日でした。
〔迫 匡〕

母校で第2回総会を開催 三枝師匠から熱いエール

―関西大学マスコミ人会

母校で開催した第2回総会には会員約70人が出席。朝の顔である高橋大作アナウンサー（校友）の進行により、西村嘉郎会長が議長となり顧問・副会長などを決定、会の体制を強化した。総会終了



後、黒田勇副学長から「『関西大学マスコミ人会』に期待するもの」と題する講演があり、出席者一同、深い感銘を受けるとともに、大いに期するところがあつた。

第2部の懇親会は、多数の来賓にご出席をいただき、活気に満ちたにぎやかなものとなった。

森本靖一郎理事・相談役のご配慮によって、多忙な中を駆けつけていただいた桂三枝師匠から、「校友芸能人もぜひマスコミ人会の会員に」と熱いエールがあり、会場内に万雷の拍手が鳴り響いた。

さらに特筆すべきは、黒田副学長（社会学部）や深井麗雄教授（政策創造学部）のゼミ生たちの参加である。マスコミ業界を志望する学生と各界校友が親しく交流する光景も、本会ならではのものではある。母校のため、学生のため、何ができるか。本会のミッション（使命）をあらためて確認することができたように思う。

なお、今回の総会で新たに決定した役員は、次の各氏（順不同、敬称略）。

〔顧問〕岡田信吾、柴田佳有、村上勝〔副会長〕桂川駿一郎、黒田勇、武田吉夫

〔事務局〕中川雄弘

ただいま活性化、まっ最中！ ―――淡路支部

やる気、元気に溢れた兵庫県は淡路支部。バスを仕立てて、野添忠支部長（昭34商）以下、島内三市から50人以上の校友とその家族が千里山キャンパスに乗り込んできた。学内見学を兼ねた今回の参加は、企画から運営まですべて若き支部員で構成する「平成倶楽部」の手で行った。

平成のリーダー田村朋宏さん（平5法）は「新高3生を5人連れて来ました。いま学内を見学中です。関大を気に入ってくれば……」と語った。PR活動を兼ねているとは頼もしい限りである。諸先輩が提供してくれた地元特産品のたまねぎ、レタス、米、くぎ煮を売っていたのも平成生まれのメンバーたち。

隣のスペースでは、校友自ら制作した「淡路島かるた」と島のアートスポットを写真パネルで紹介し、若い校友たちの関心を引いていたのが印象的だった。また、通りすがりの現役生が「あ、淡路！僕の出身地や」と立ち止まり、先輩たちと話の輪が広がった。スプリングフェスティバルならではの場面だ。

淡路支部は、創部50年の歴史ある支部だが、長い間“冬眠”していたという。2年前に若手校友が是非復活をと呼びかけて目覚めさせた。今後も関関戦の観戦やバーベキュー、地域清掃などを積極的に行っていきたいと意欲満々だ。地元の豊かな文化に誇りを持つ関大校友が集い、地域に密着して若々しい発想と企画で突っ走る。すばらしい発信力と行動力で、これから益々楽しい支部である。

（広報部 山本淑子）



2011

スプリングフェスティバル

竹内洋教授が講演

— 社会保険労務士関大会

今年も講演会を開催した。当日の参加者は昭和25年卒業の大門会長以下、平成17年卒の菅本紗奈枝さんまで卒業年度の異なる社労士が総員で38人参加した。

毎年本学の講師による話題性のあるテーマを取り上げているが、本年度は人間の健康学部学部長・竹内洋教授による「グローバル・スタンダードからみた日本の大学」と題して国際的視点から見ての日本の大学の現状と問題点、今後進むべき方向性などにつき、鋭い分析力で切り込んだ講義を拝聴した。その後大学



院食堂にて楽しく懇親を深めた後、恒例の歓迎セレモニーにて応援団・チアガールによる演舞・演奏を大いに楽しんだ。
(広報委員 牧江重徳)

災害支援のシンポジウム開催

— 臨床心理士会

第5回総会・研修会が第2学舎2号館C304教室で開催された。特別講演では「脳とこころの関係」をテーマに小海宏之前会長よりお話しいただいた。また午後のシンポジウム。「臨床心理士業務における連携について」では、シンポジストとして岡本吉史幹事、大概奈穂幹事、鈴木博子会員に、他職種と連携を模索する中での取り組みについてご発言いただいた後、グループディスカッションを行い、今後の連携の在り方について討議した。加えて今回の大震災を受けて企画され



たシンポジウムⅡ「災害支援に関わる臨床心理士」が開催され盛況を得た。今後も校友会で会員相互に研鑽を深めていきたい。
(幹事 首藤賢)

初の試みに35人参加

— 経済人クラブ

経商2号館404号室にて懇親会を開催しました。開催前に寺内校友会会長及び上原理事長の激励のご挨拶をいただき、会は11時半から田合代表幹事の挨拶と能川女性部会幹事の挨拶から始まり、出席者はご家族人数を入れて35人。

昨日中国の出張から帰国された山路昌彦氏やモンゴルから帰国の八木正氏、ブラジルの軍人女性を同道していただいた三宅信史氏ら、多くの方からそれぞれの分野で含蓄のあるスピーチをいただいた。また、村上康司若手会代表幹事

お芋とお餅でおなかとココロが
ほっこり温まりました

おいしそうな臭いに誘われて事業部のテントをのぞくと、「らぽっと」の従業員さんが揚げるあつあつのお芋のボールや大学芋を、事業部のメンバーが不慣れな手付きで、ものすごく真剣にパック詰めしたり、紙袋に入れたり。

伊藤晃充部長と岩崎圭裕副部長によると「今年のスプリングフェスティバルでこの事業を計画していたところ、震災が起きたので売上げから原価を引いた全利益と、募金箱の分とを合わせて寄付します」とのことだった。

一方、例年の如く、揃いの法被に日本手ぬぐい、いなせな格好は、1期生から63期生まで参加の一同窓会のお餅つき。

小坂圭一会長にコメントをいただいた。「今年は、震災のこともあり、お餅つきはお祝い色が強過ぎて、どうだろうか？との意見もありましたが、関西が沈黙化することを嫌い、また復興の義援金を集めようとの意気込みから実施しました。結果、たくさんの義援金が集まりました。

そして何より、新卒の同窓生が東京の大学に行く前に、と参加してくれたことがうれしかったです。

花冷えの一日、お芋とお餅で暖かい義援金ありがとうございました。

(広報部 三木允子)



から若手会会員の紹介及び今後の企画について紹介があった。

最後に、天野正相談役から敗戦後の状態から立ち直った

日本の心を取り戻してがんばろうとの激励の言葉を頂き、午後1時に散会した。特に一軸浩幸名誉顧問には、激励のお言葉をいただき、また最後

まで出席頂いた。

（代表幹事 田合邦臣

桜並木を抜けると

学生時代に

— J R 関大会

例年になく肌寒い中、法文
学舎1号館の教室で「J R 関
大会」を開催しました。

幸い、桜も満開ではないも
のの咲いており、桜並木の中
を教室に向かうと懐かしい学
生持代を思い起こさせてくれ
ます。

今回の参加は14人で、総会
と近況を話し合った後、グラ
ンドで弁当を食べながら歓迎
セレモニーを楽しむことができ
ました。

これからも、家族連れを含
め、花見の行事の一つとして
「関大スプリングフェスティバ
ル」に参加いただけるよう、
会員に宣伝していこうと思っ
ています。
（小西ひさし）



高橋館長に

案内いただく

— 関西大学会計人会

初参加である。午前9時30
分に総合図書館前に集合の
後、博物館・高松塚古墳壁画
再現展示室・豊臣期大坂図屏
風復元陶板を見学した。ご案
内を博物館館長の高橋隆博先
生にお願いした。豊臣期大坂
図屏風については復元陶板の
前で場面解説をして頂いた。
興味深いお話に会員よりいく
つもの質問が飛び出した。そ
の後、学舎に戻り昼食をしな
がら暫しの歓談。午後からの
歓迎セレモニーに各自参加と
なった。

30数年ぶりに母校を訪れた
会員は、キャンパスの変わり
ように感慨もひとしお。普段
の会合は主に大阪市内で行わ
れるのだが、久しぶりの母校
での集いは格別なものであっ
た。
（副幹事長 長谷川孝志）



文化会本部役員と

交流会

— 華文会

経商A308号室におい
て、中瀬会長を始めとした華
文会OBと、文化会本部役員
による交流会を行いました。

今後、華文会が、どのよう
に文化会の活動を支援するか
について熱い意見交換を行い、
今後も継続して話し合いをし
ていく事に決まりました。

様々な分野で活躍されてる
OBが、多数在籍している華
文会として、学生へ更なる支
援をしていけるよう頑張ります。
（08年文卒 藤本康志）



模擬店収益等を寄付

— コールテクニカOB会

今回の、スプリングフェス



ティバルには、東日本震災
チャリティー模擬店を前面に
出し、チャリティーを目的と
した模擬店を開きました。

集まったOB有志9人
で、京都のみたらし団子とオ
ーストリア直輸入のワインの
販売をして、売上の収益金と
募金箱で集まった金額を義援
金として寄付しました。
（奥村正治）

春の集いを開催

— 第一新生会

本部の開催するスプリング
フェスティバルを機に、春の
集い呼びかけた。

昨年5月に卒業60周年記念
総会を、大阪新阪急ホテルで
開催し、その席上で今後の集
まりは、春と秋の集いを気軽
に開催して、旧交を温めよう
との申し合わせを行った。秋
の校友総会での集いに続く第

お母さまへ

主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。

高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
（関西大学卒業生の妻）

血糖299が2カ月で94に！ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に！

ヘモグロビンA1C値の
改善にお役立て下さい。
『お薬、食事、運動など
今まで何を試しても下
がらなかったA1C値...』
今回、やっと下げた！と、
多くの方にお喜び戴い
ている特許新成分です。
▼この漢方・燕子掌の詳
しい資料・改善データを
無料でお送りいたします。
特許番号第2535674号
0120(090)358
ヘルスケア研究所

えんししょう
燕 子 掌
180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

資料無料送付

2011 スプリングフェスティバル

毎日の重苦しいニュースの中、桜の母校に集い、ひとときの明るい気分になった。幹事の方々のお世話で毎年お会いできることに感謝している。

今年は卒業後60周年、記念すべき年です。迎えられたこと自体がおめでたいと思うが、秋には学部26年会として卒業60周年記念総会を開催し、それを最終の総会とすること等

秋に学部26年会 記念総会 — 予科療燭会

二弾が今回の催しとなった。呼びかけの範囲は、記念総会に返信回答があった70人を対象に発送した。幸い5人が参集し交歓を深めたが、記念行事で大活躍の辻・大芦両君の急死に、人生の儚さを悼むひとときもなった。

(篠原昭三)



同伴2組を含め約20人が参集。芝田幹事の司会で、大震災犠牲者と同期生物故者への黙祷のあと、入院加療中の畑下会長の要請で、宮道が代行

来年の卒業60周年に 向けて協力を依頼 — 学部27年会

を話し合い、記念総会での再会を誓い合った。(上田卓)



京都の久美浜や名古屋からの参加もあり、30人の会員と家族が「紫紺」に集まった。寺内校友会長も挨拶に来室、募金にも協力いただいた。

東日本の地震と津波の恐ろしさを痛感、会員の孫(保育園児)たちも関大災害特別義援金募金の箱にお小遣いから入れてくれた。

昭和29年に学部を卒業した

孫も義援金に募金 — 二九千里会

懇親会では、藤本オプザイバーの情報豊かなリードで、参加者全員のスピーチも和やかな雰囲気の中で進行。谷村会計監事のお開きの言葉のあと追遙歌を合唱して、各々中央グラウンドのセレモニーからキャンパス内を散策した。

(副会長 宮道伊佐美)

して挨拶。まず被災地での本学学部生・院生に対する大学からの義援金募集を紹介。次いで本年度の入試に関し、4年制私大595校中、志願者数6位という状況等の説明をして、母校に対する認識を深め、更に来年の卒業60周年記念総会に対する畑下会長の強い熱意を伝えて、同期生の協力を願った。

一年ぶりの再会に話が弾んだ。昨年、久しく途絶えていた「会報」を復刊しようとして長友会会員全員に原稿を依頼したところ20通の原稿が集まり、長砂先生に直筆の会報の題字を頂き「長友会会報」を発行

会報が復刊 — 長砂ゼミ長友会

(総務幹事 水野富藏)

悠久の庭でお茶をいただき、博物館を見学し、グラウンドでのセレモニーに参加。活気ある応援団乱舞等を見せていただき、元気を貰った。

のは1729人。行事に参加できる人は少なくなり、傘寿前後の年齢になったが、まだまだ元気な人もおり、青春を確かめあったり、社会情勢の話題で弾んだ。



「くもんの先生」募集中

くもんの先生は地域の子どもの成長と一緒に応援できる仕事です。「子どもに教えることができるか不安…」大丈夫です。私たちがサポートしますので、一緒に学んでいきましょう。子どもの能力を育み、自らも高めることができます。随時、「くもんの先生」説明会を実施しています。この機会にお気軽にご参加ください。

KUMON 日本公文教育研究会 近畿ゾーンリクルートチーム
〒532-8511 大阪市淀川区西中島5-6-6 公文教育会館2階

0120-834-414

受付/9:30~17:30 (土・日・祝除く)

お問合せいただいた方には「くもんの先生」のことがわかるDVDを、説明会にご出席いただいた方には公文式のことわかる書籍をプレゼントしております。

くもんの先生の仕事

- 教室は週2回(午後の5時間程度)
- 教科は算数・数学・英語・国語
- 収入は生徒数により異なります。(開設時に「開設認可料」105,000円が必要です)

応募の資格

- 50歳までの女性。
- 充実した研修制度があるのも未経験でも安心です。(研修費無料)

ケータイから簡単アクセス



「くもんの先生」説明会受付中!

KUMONでは各地域で「くもんの先生」説明会を実施しています。



会員の手元に届けることができた。

高井憲司会長の開会の挨拶で始まり、長砂先生から近況報告を頂戴した後、会計報告・監査報告が行われた。引き続き今回の議事として、東日本大震災で被災された関大関係の方々への関西大学災害特別義援金について討議を行い、微力ながら長友会としても協力させて頂くことで意見の一致を得ることができた。途中、昨年に続き寺内俊太郎校友会長の訪問を受け、一緒にカメフラに収まって頂いた。

(吉村真二)

被災の恩師に

支援物資
鉄川ゼミ謝交会

この度の地震により仙台在住の恩師鉄川教授が被災された。幸い鉄川教授は怪我も無



くご無事であったが、今も尚厳しい生活を強いられている。この状況下におき、今回の総会では参加者全員の賛同のもと、支援物資を送ることを決定し、カンパには増地常務理事にもご協力いただき、先生が希望された米のインスタント食品を送ることになった。

総会後の懇親会は敢えて自粛せずいつも通り行い、その和やかなムードを先生にも届けようとの思いで乾杯し、皆で語らいながら「先生への応援メッセージ」を寄せ書きした。懇親会終了後グラウンドのセレモニーを楽しみ、その後は平野会長のご好意で相撲部の振る舞いちゃんのご相伴に与り、貴重な体験を共有し、相撲部現役及びOBの方々との懇親を深めることができた。

(幹事 藤森憲子)

3団体合同で懇親会 — 応援団OB長柄会・ スポーツマンクラブ・ 司法書士関大会

これまで別々の教室で独自に催していた「関西大学スポーツマンクラブ」と「司法書士関大会」および「関西大学応援団OB長柄会」の3団体が法文学舎の1つの教室を借り受けての合同開催となった。

会の冒頭、長柄会上符副会長の挨拶に続き、現役チアリーディング「クレアーズ」顧問の山本英一教授、関西大学スポーツマンクラブ中井会長の挨拶の後、小坂道一最高顧問の献杯で開会となった。

また、東北地方を襲った大震災で被害に遭われた方々を元気づけるために、OBバンドと現役チアリーディングの演舞演奏を実施し、最後には



馬淵幹事長リーダーによる応援歌で「がんばれ 東北」とエールを送り演舞演奏を終了した。

その後、中央グラウンドでの歓迎セレモニーに参加した後、

再度、法文学舎に戻り、家族連れも含めた会員約50数人が桜ならぬ昔話に花を咲かせて散会した。

(長柄会広報部長 奥田照夫 スポーツマンクラブ広報部長 松永明)

東日本大震災犠牲者に黙祷 復興願い多くの参加者が募金

桜がまだ3分咲き程度の中、今年も千里山で恒例のスプリングフェスティバルが開催された。校友会の中でも、今年は東日本大震災のこともあり開催中止の意見もあったが、このようなときこそ日本を元気づけるためにぜひ開催すべきとの声が多く、多くの校友も元気を貰いたいとの思いで参加されたように思う。

この災害から早く立ち直ってほしいと祈りつつ、会場のあちらこちらに設置された募金箱に校友の思いが多く寄せられた。

午後からは中央グラウンドで恒例の歓迎セレモニーが行われた。今年は、まずこの震災で亡くなられた方々のご冥福を祈り黙祷をささげた。その後、校友会会長、理事長、学長の挨拶に続き 応援団そして漢字舞による演舞、演奏が行われた。昨年に比べ少し肌寒く感じられたが 多くの校友が最後まで現役学生の元気あふれる演舞に大きな拍手を送っていた。最後は逍遙歌で別れを惜しんだ。来年はもっと日本が、そして東北が元気になっていることを祈って。(この日集まった募金は日本赤十字社を通じて被災者の方々に届けられるとのことです。)

(広報部 馬淵純一)



2011 スプリングフェスティバル



一高 新卒生も 駆けつけて

— 一高同窓会

東日本大震災の復興を祈念して餅つき大会を開催しました。義援金に喜捨いただいた方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。

さて当日は、今年一高を卒業し関東の大学に進学することになった「新同窓生」も参加してくれました。以下がその感懐。

温かかったお餅と

善哉とみんなの笑顔

今年、関大一高を卒業したばかりの私は、一高同窓会のメンバーとして初めて参加させていただきました。

朝の準備に集合時間通り行

ったのですが、皆さんすでに集まられていて、準備が着々と進んでいました。さすが、毎年恒例。みんな楽しみにしているのだな、と感じました。

おそろいの法被を着ておそろいの帽子を被り、デザインの新しくなった手ぬぐいをこちらもちろんおそろいで首に巻き、ワイワイ盛り上がりながらお餅をつき、ちぎって丸め、お皿に乗せていききました。和風で模様も色遣いも可愛らしい今年のこの手ぬぐいは、まだ一高生気分が抜けきっていない私にとってうれしいことに、現役の一高生がデザインした物。こんなところでも「一高」の強いつながりを感じることができました。

お餅は大盛況で、つきあがる前から長蛇の列。大きいもの、小さいもの、ちよつと不細工なものなどまちまちでしたが、みんな笑顔で楽しそうに食べてくれました。私も食べさせていただきましたが、もちろん、美味しかったです。また、肌寒かったこともあり、温かいお善哉も人気でした。最初は、何をしたらいいかわからず、おろおろするばかりでした。でも、皆さんとても優しく話しかけてくださり、一緒に楽しくすることができました。



卒業してからもみんなが

「一高」を通してつながっている。今まで知らなかった人ともつながれる。そうして、生活や環境などが変わる新しい4月に毎年こうして集まっています。来年も、是非参加したいです。

天気は曇り、気温も高くはありませんでしたが、咲き出した桜の下でのつきたてのお餅とお善哉、そしてみんなの笑い声は、とても温かかったです。

(第63期卒 広瀬翼)

コーヒショップで

身も心も温まって

— 女子秀麗会

今年のスプリングフェスティバルは、「異常気象」とも言える寒さのなか行われました。女子秀麗会会員にとって「冷



えは大敵」ですが、コーヒ

の暖を求めてお客様が引きを切らず、嬉しい悲鳴でした。バザーは、「ハーブ商品」を自当てるお客様も来てくださり、すっかり定着しました。

「私、28年卒よ!」「キャ!! 大先輩!」「毎年来てのよ」「ありがとうございます。来年も来てくださーいね。お客様とのコミュニケーションが楽しく、寒さも忘れしました。」

(小谷寛子)

花冷えの学び舎に集う

熱き友

— 社会学部同窓会

恒例の「社会学よっといデー」は、目立った参加勧誘はしなかったものの23人の参加者で賑わった。他の会合の合間に

ネット契約で保険料を節約! まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 **OFF**

損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険代理店事業部・事務機器事業部
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社・豊中営業所 豊中市新千里北町2-20-8/吹田営業所 吹田市佐井寺4-43-8/関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内 TEL0120-50-5421

立ち寄ってくれた何人かの同窓生もあり、また、滋賀支部今井、此花支部平岡両支部長からも、生協食堂で昼食懇談会をしている側を通られた際に声をかけていただき、一同感激した。

卒業後ウン十年経って、年に一度桜咲く母校を訪れば「生協食堂のいつもの場所にいつもの仲間がいる」ことの嬉しさは、学生時代を思い起こさせてくれると何人もの卒業生が語ってくれた。

7月3日には創立10周年記念式典を100周年記念会館で開催（40頁に案内掲載）するが、校友会の支部・団体からもご協力をいただいております。温かな気持ちに込めるためにも、式典を次の10年の飛躍の出発点にすべく、意を強くして千里山を後にした。

（会長 中村仁）

創部60周年記念展に 向け決意新たに ―書道部OB・OG会―

東日本大震災被災者の計り知れない悲しみと勇氣に思いを馳せながら、第16回書道部OB・OG会総会が経商1号館で開催された。真砂会長の挨拶に続き、財務体質の改善等の諸案件が審議・承認さ



れ、23年度の具体的な活動方針が決定された。

とりわけ、24年4月に予定されている創部60周年記念「オール関大書展」開催に向けた方針案と推進体制が確認されたことは喜ばしいことである。

「OB・OG諸氏と現役の書道部員を繋ぐ架け橋となる」（真砂会長）この記念事業を成功させ、書道部の絆を更に太く温かく育み、発展させていくことを全員で誓い合った。

終了後、総合図書館前の階段で満開の桜を背に記念撮影。チルコロでの懇親会では、現役との親睦や交流を大いに深めた。

（金川元信）

31人の楽しい親睦会 ―交響楽団OB・OG会―

桜の美しい千里山キャンパス



スを眺めながらの教室で、部創設時のOB・OGから現役団員までの31人の楽しい親睦会を開催できました。

古今の音楽行事や年代ごとの音楽気質等の、日頃聞けない話に花が咲く中、飛び入りでお願いした現役の四重奏と大先輩のバイオリンによる美しい調べに拍手喝采、和やかに楽しい集いになりました。アット言う間の2時間でした。その後は、各会場での熱気あふれるイベントを楽しみ、時を超えたすばらしい集いになり、来年の再会を約束しました。

（会長 谷口眞人）

現役に活動援助金 ―速記部OB会―

新卒のOB2人を含め30人



が参加。現役は4回生2人を含む17人が参加しました。

林信史会長の東日本大震災の被災者を思いやる挨拶から会は始まりました。会計報告、活動報告の承認。現役の活動報告では全日の45連覇の報告を受け、さらなる躍進をとOB会員から拍手でエールを送りました。寺内校友会長さんからも励ましのエールをいただきました。恒例の現役への活動援助金（10万円）を授与し閉会。

参加者全員で記念撮影の後、現役との交流会は新関大会館南館・レストラン・チルコロで実施。大いに飲んで食べて、歓談して春のよき日を楽しみました。

（事務局長 坪井恭二）

ANSAI KUグッズ
NIVERSITY

For Memory & Campus Life

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生生活協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

第17回統一地方選

第17回統一地方選挙は、府県議員・政令指定都市議員など前半戦が4月10日に市町村長・市町村議会議員など後半戦が4月24日に、それぞれ投票された。

校友会事務局で確認できた今回の統一地方選挙での関大関係者の当選者は次のとおり（無投票当選を含む）。

なお、調査は万全ではなく、未掲載の当選者を「存じの方は、校友会事務局へご連絡くださいますようお願いします」。

掲載は、氏名・卒業年学部・年齢・選挙区・党派・当選回数。順不同・敬称略。

◆大阪府議会議員

富田健治（とみた・けんじ）昭45M法 69歳。旭区、民主現・7回。

岩見星光（いわみ・ほしみつ）昭51一高 53歳。西淀川区、自民現・6回。

笹川理（ささがわ・おさむ）平19M法 29歳。東淀川区、維新の会新・1回。

北川法夫（きたがわ・のりお）昭48学経 62歳。寝屋川市、自民現・7回。

阿部寛久（あべ・たかひさ）昭57学経 54歳。摂津市、維新の会現・3回。

西野修平（にし・しゅうへい）平7学商 38歳。河内長野市、維新の会現・3回。

宮本一孝（みやもと・かずたか）平11学経 40歳。門真市、維新の会現・2回。

山下浩昭（やました・ひろあき）昭59学商 50歳。東大阪市、公明新・1回。

橋本和昌（はしもと・かずまさ）平3学社 43歳。四條畷市、維新の会新・1回。

◆兵庫県議会議員

野々村竜太郎（ののむら・りゅうたろう）平4学法 44歳。

西宮市、無所属新・1回。

加茂忍（かも・しのぶ）昭50学文 59歳。川西市・川辺郡、自民現・5回。

篠木和良（しのぎ・かずよし）昭45学法 64歳。川西市・川辺郡、無所属現・2回。

伊藤勝正（いとう・かつまさ）平2学経 44歳。明石市、公明新・1回。

大野由紀雄（おの・ゆきお）昭52学工 57歳。姫路市、公明現・5回。

上田良介（うえだ・りょうすけ）昭49学法 60歳。美方郡、無所属現・2回。

◆京都府議会議員

石田宗久（いしだ・むねひさ）平2学法 44歳。左京区、自民現・3回。

◆奈良県議会議員

出口武男（でぐち・たけお）昭G学文 75歳。奈良市、自民現・9回。

◆愛知県議会議員

天野正基（あまの・まさもと）平7学社 41歳。小牧市、民主現・2回。

◆三重県議会議員

濱井初男（はまい・はつお）昭48学経 61歳。多気郡、民主新・1回。

◆愛媛県議会議員

石川稔（いしかわ・みのる）昭53学社 55歳。新居浜市、無所属現・2回。

◆大阪市区議会議員

片山一步（かたやま・かずほ）昭62学法 47歳。住之江区、維新の会新・1回。

出雲輝英（いずも・てるひで）昭63一高 41歳。大正区、維新の会新・1回。

待場康生（まちば・やすお）昭47学文 61歳。東成区、公明現・5回。

足高将司（あしたか・まさし）昭49学法 62歳。天王寺区、自民現・5回。

木下誠（きのした・まこと）平2学法 44歳。生野区、維新の会現・2回。

◆堺市議会議員

芝田一（しばた・はじめ）昭57学商 52歳。北区、公明現・3回。

◆神戸市議会議員

梅田幸広（うめだ・ゆきひろ）昭48学法 62歳。西区、無所属現・4回。

金沢治美（かなざわ・はるみ）昭56学商 53歳。北区、共産現・4回。

北川道夫（きたがわ・みちお）昭50学文 58歳。東灘区、公明現・3回。

向井道尋（むかい・みちひろ）昭52学法 56歳。須磨区、公明現・2回。

◆京都市議会議員

今枝徳蔵（いまえだ・とくぞう）昭36学法 72歳。下京区、民主現・8回。

◆池田市長

倉田薫（くらた・かおる）昭46学法 62歳。無所属現・5回。

◆藤井寺市長

國下和男（くにした・かずお）昭41学経 69歳。無所属現・2回。

◆池田市議会議員

木下克重（きのした・かつしげ）昭54学社 55歳。自民現・8回。

吉本光夫（よしもと・みつお）昭49学社 60歳。公明現・5回。

渡辺千芳（わたなべ・ちよし）昭52学法 57歳。無所属現・4回。

山元建（やまもと・たけし）昭59学文 49歳。共産現・2回。

◆大阪狭山市議会議員

山本尚生（やまもと・ひさお）昭48学経 62歳。無所属現・3回。

◆門真市議会議員

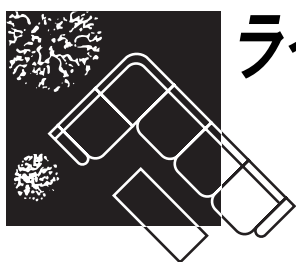
佐藤親太（さとう・ちかた）昭40学法 68歳。無所属現・3回。

木津英之（きづ・ひでゆき）平12学商 35歳。民主新・1回。

◆四條畷市議会議員

小原達朗（おはら・たつろう）昭52学工 56歳。公明現・4回。

瓜生照代（うりう・てる



ライフデザインの時代へ

家具卸
株式会社 大谷賢三商店

〒579-8063 東大阪市横小路町5丁目5番5号 Tel. (0729) 82-3311 (代) Fax. (0729) 84-4350

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型薯蕷(上用)謹製

厚生大臣賞受賞
日本食品衛生協会会長賞

和洋菓子司



株式会社 月華

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)

FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山本雅己(S53学1法卒)

- よ 昭55学文 58歳 公明
現・3回
- ◆吹田市議会議員
山本 力(やまもと・つとむ) 昭52学法 58歳 民主
現・9回
- 生野 秀昭(いくの・ひであき) 昭49学法 63歳 無所属
現・6回
- 豊田 稔(とよだ・みのる) 昭53学文 56歳 自民
現・5回
- 村口 始(むらぐち・はじめ) 昭3 M文 54歳 共産
現・3回
- 藤木 栄亮(ふじき・えいすけ) 昭2学文 43歳 自民
現・2回
- 神谷 宗幣(かみや・そうへい) 昭19専法科 33歳 諸派
現・2回
- 上垣 優子(うえがき・ゆうこ) 昭52学社 57歳 共産
新・1回
- ◆高槻市議会議員
角 芳春(かど・よしはる) 昭40学法 71歳 自民
現・6回
- 山口 重雄(やまぐち・しげお) 昭44学経 64歳 無所属
現・3回
- ◆富田林市議会議員
沖 利男(おき・としお) 昭49学商 62歳 無所属
現・7回
- 岡田 英樹(おかだ・ひでき) 昭52学法 57歳 共産
現・2回
- ◆寝屋川市議会議員
山崎 菊雄(やまざき・きくお) 昭48学法 61歳 無所属
現・3回
- 北川 光昭(きたがわ・みつあき) 昭54学商 54歳 自民
現・3回
- 村上 順一(むらかみ・じゅんいち) 昭6学法 44歳 公明
現・1回
- ◆枚方市議会議員
西田 政充(にしだ・まさみつ) 昭63 M工 47歳 民主
現・4回
- 大地 正広(おおち・まさひろ) 昭62学文 49歳 公明
新・1回
- ◆守口市議会議員
澤井 良一(さわい・りょういち) 昭48学法 60歳 無所属
現・9回
- 服部 浩之(はっとり・ひろゆき) 昭20学総情 28歳 無所属
新・1回
- ◆八尾市議会議員
越智 妙子(おち・たえこ) 昭53学文 58歳 共産
現・7回
- ◆伊丹市議会議員
北原 速男(きたはら・はやお) 昭54学法 55歳 公明
現・2回
- 加藤 光博(かとう・みつひろ) 昭53学社 55歳 無所属
現・2回
- ◆小野市議会議員
山中 修己(やまなか・おさみ) 昭46学商 62歳 無所属
現・3回
- ◆西宮市議会議員
中川 経夫(なかがわ・つねお) 昭44学文 64歳 無所属
現・7回
- 上谷 幸彦(かみたに・さちひこ) 昭38学文 70歳 無所属
現・7回
- 木村 嘉三郎(きむら・かさぶろう) 昭50学工 59歳 無所属
現・3回
- 河崎 源(かわさき・はじめ) 昭57学商 54歳 無所属
現・3回
- ◆姫路市議会議員
三和 衛(みわ・まもる) 昭19学総情 28歳 無所属
新・1回
- ◆城陽市議会議員
大西 吉文(おおにし・よしふみ) 昭38学文 71歳 無所属
現・5回
- 乾 秀子(いぬい・ひでこ) 昭52学社 56歳 公明
新・1回
- ◆八幡市議会議員
山口 克浩(やまぐち・かつひろ) 昭17学法 36歳 無所属
現・2回
- ◆生駒市議会議員
有村 京子(ありむら・きょうこ) 昭52学法 57歳 無所属
現・3回
- 成田 智樹(なりた・ともき) 昭62学社 48歳 公明
新・1回
- ◆橋本市議会議員
松本 健一(まつもと・けんいち) 昭5学商 44歳 無所属
現・2回
- ◆和歌山市議会議員
小川 孝夫(おがわ・たかお) 昭4学経 44歳 無所属
新・1回
- ◆豊橋市議会議員
杉浦 正和(すぎうら・まさかず) 昭11学商 35歳 自民
現・2回
- ◆鈴鹿市議会議員
中西 大輔(なかにし・だいすけ) 昭5学社 41歳 無所属
現・2回
- ◆坂出市議会議員
末包 保廣(すえかね・やすひろ) 昭50学工 60歳 自民
現・2回
- ◆筑紫野市議会議員
尾野 正義(おの・まさよし) 昭32学経 76歳 無所属
現・3回
- ◆東京都板橋区議会議員
末吉 不二夫(すえよし・ふじお) 昭40学経 70歳 民主
現・10回
- ◆奈良県王子町議会議員
清水 勉(しみず・つとむ) 昭52学工 59歳 みんな
新・1回
- 大久保 一敏(おおくぼ・かずとし) 昭45学法 64歳 無所属
新・1回
- ◆奈良県河合町議会議員
吉村 幸訓(よしむら・ゆきのり) 昭60学法 49歳 無所属
新・1回
- ◆和歌山県九度山町議会議員
米阪 憲和(よねさか・のりかず) 昭48学社 60歳 無所属
新・1回
- ◆徳島県北島町議会議員
坪内 律雄(つばうち・つねお) 昭43学経 66歳 無所属
現・4回
- ◆奈良県黒滝村議会議員
平 彰(たいら・あきら) 昭48学法 61歳 無所属
現・2回

窓を考える会社 YKK AP

YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141 www.ykkap.co.jp

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくてはならない水——
タブチは、安全で快適な給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています

給水用具の設計・開発・製造
株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210 http://www.tabuchi.co.jp/

北から 南から 《各地支部だより》

上原理事長ら6人が出席

上海オフィス開設を機に交歓

上海関大会(横田和彦会長)では2カ月に1回、定例会を開催して会員の情報交換をはかり親睦を深めているが、3月の定例会は曜日を変更して、3月26日に日本料理・ころりで開催した。



母校関西大学が、協定校の復旦大学・日本研究センター内に上海オフィスを設置、27日に楠見学長、上原理事長らが出席して開所式が行われるため、来訪

を機に合同交歓会として開催したもので、日本から上原理事長、楠見学長、池内専務理事、水野教授、古川校友会副会長、畑事務局長代行の6人が出席、総勢33人の賑やかな会となった。

横田会長挨拶の後、古川校友会副会長から、持参いただいた資料を基に最近の母校の現況を詳しく紹介していただいた。また、1957年にサッカー日本代表として中国に遠征した時の写真のチラシが配られ、周恩来首相と握手した思い出などエピソードの紹介があった。

やや遅れて、空港から直行された上原理事長ら大学関係者が到着。楠見学長、上原理事長に挨拶をいただき、池内専務理事の音頭で改めて乾杯。いつにない歓談の一時を過ごし、最後はいつものように小園応援団長のリードで関大唱歌、逍遙歌をみんなで一団になって歌い、久しぶりに盛り上がった。

なお、今回は日本より参加の

方々から多額のお土産を頂戴したため、上海関大会としては今回の定例会を「義援関大会」と位置付け、欠席の会員からも義援金を募集し、合わせて東日

新支部長に堺精一氏を選任

中野国務大臣がお祝いの挨拶

2月19日、100年以上続く東京支部(南部靖之支部長)では、新年度総会を関西大学東京センターで開催した。

校友会本部、首都圏支部連合会、近隣支部からの来賓と昭和27年・平成20年卒までの幅広い年齢の校友たち約100人が集い大いに親睦を深めた。

第1部総会では、支部規約改定、役員改選の議事が全て承認された。

南部支部長と大川幹事長の長

本大震災の義援金として上海日本国領事館に持っていくこととした。(幹事 山本震一) (山本震一=yamamotos@shystrading.com)

れ、柳田国男副支部長の挨拶で締められた。(寺井 記) (関東雇用創出機構 03-6832-7500)

カリビアン・ミュージックを堪能

ミナト見下ろす会場で総会

神奈川支部(重延義樹支部長)は、23年度総会「New Year Festa」を2月26日、ミナトヨコハマを見下ろす「東天紅」横浜店で開催した。古川校友会副会長をはじめ6人の来賓と、最高

齢米寿での初参加となった八木晟次氏を含め64人が参加。和服姿が絵になる川崎美佐子副支部長の司会による第1部総会では、古川氏が学校の近況を、重延義樹支部長が同好会活動を報告。

恒例となった「私のものがたり」では、リタイア後に毎年海外でのロングステイを楽しむ高橋一弘氏が、生きがいに繋がる趣味を持つことの大切さを語られた。

第2部懇親会では、スチールドラムを特技とする新開雅子副支部長が、先生の鈴木伴英氏や仲間と共に演奏を披露。参加者はしばし異国情緒漂うカリビアン・ミュージックを堪能した。

歓談も尽きぬ中、谷口正明最高顧問が中締め、おなじみ応援団OB久澤弘忠氏のリードによる

東郷校友会事務局長の乾杯、会食、歓談、名刺交換会、漫才「銭億円」による笑い、橋本昌彦氏(平15社)のライブコンサート「ママへのラブソング」「上を向いて歩こう」で感動のひと時を過ごし、続いて新会員紹介、年代別対抗ゲーム大会と数々のイベントを通し盛り上げりを見せた。

最後には、応援団OB田村怜嗣氏の音頭で逍遙歌が大合唱さ

関西大学校友会東京支部 平成23年新年総会



逍遙歌で幕を閉じた。



(中野映子) 昭53学杜
(ダイケイ) 050-1063
-9660)

母校の近況に驚きと誇り
初参加者はつらつと

自己紹介

三重県南勢支部(時田耕路
支部長の23年(第54回)総会が
2月27日、松阪フレックスホテ
ルで開催された。

古川校友会副会長はじめ、愛
知支部、名張支部、北勢支部、
中勢支部からの来賓を含め40人
の出席だった。

総会では、予定されていた議
案も順調に承認され、その後、
現在の関西大学を紹介するDV
Dを観て、千里山はもとより、



高槻、堺の両キャンパスや学部
紹介、学内活動、施設の充実に
多くの校友が驚き、羨望と同時
に誇りを感じたことだった。

懇親会では、初参加の3人の
紹介があり、中でも平成18年卒
業の高橋伸久君のはつらつとし
た自己紹介には今後の支部の先
行きに明るさを見出すことがで
きた。

また、この統一地方選挙に立
候補予定の校友(支部幹事の濱
井氏)も熱い思いを語った。恒
例のビンゴゲームで楽しい一時
を過ぎた後、逍遙歌で締め、
閉会となった。(松井伸幸
(時田耕路) 0598-26-7
209)

初参加10人が自己紹介

地元在住・転勤族含め交流

愛媛支部(小泉勇治郎支部
長の総会・新年会が、1月29

日、松山市内のいよつ会館に
校友会本部・四国3支部を来賓
に迎え、総勢53人の校友が集い
開催された。

総会は、小泉支部長の挨拶に
始まり、校友会本部の一軸顧問
より祝辞をいただくとともに大
学の現状を興味深く拝聴した。
続いて前年の活動報告の後、
当日飛び入りを含め初参加10人
の自己紹介で1部を終え、校友
会本部の東郷事務局長の乾杯の
発声で和やかに新年宴会が始ま
った。

昭和29年から平成22年卒まで
の幅広い年代を超え、ひと時千
里が丘に思いを馳せ昔話に花が
咲いた。引き続き織田校友(平
11法)の進行による恒例のビン
ゴゲームを楽しんだ。



藤岡緑校友(昭51法)の名調
子の口上とエールによる逍遙歌
を参加者全員で合唱し、西嶋副
支部長の挨拶で盛況の内に散会
した。

今後も地元在住、転勤族を含
め愛媛での「関大ファミリ」
の交流の輪を広げて行きたいと
思う。(幹事長 稲荷和重
(稲荷和重) 089-956-
1869)

関関同立で切磋琢磨を
相互信頼と

世代超えた広がり

福岡関関同立懇話会を、今回
の幹事校・関学主催で4月14
日、各校6人計24人の出席で開
催した。

福岡地区同窓会・各4校の親
睦を深めるため、わが福岡千里
会(白木成光会長)・花田正利
名誉会長が提案し、各校持ち回
りで始めたこの懇話会も、回を
重ねるごとに着実に互いの信頼
を深め、かつ世代を超えた広が
りをみせている。

4校対抗ゴルフ大会及び各同
窓会の日程調整等々、議事が進
行するとともに酒量も増え、『関
関同立・関西4大学』学校の枠
を超え、これからの切磋琢磨し
て世の荒波を乗り越えていこう
と年甲斐もなく(?)話が盛り
上がり、予定時間をオーバーす
る和やかな会合となった。

■正規取扱メーカー／アルファロメオ・フィアット、シトロエン、ロータスカーズ、MG Rover、シボレー・スタークラフト、キャデラック、HAMMER、ケーターハム・スーパー7、モーガン
<その他取り扱い車種>メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、ブジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ジロン自動車株式会社

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司

<http://www.jiron-auto.co.jp>

〒556-0001大阪府大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
●営業時間：(平日) 9:00～19:00 (日祝) 10:00～19:00 年中無休 ※年末年始は除く

また、新年会は1月21日に開催し、花田名誉会長が、永年にわたる同窓会活動に対し母校より表彰を受けたことを出席者全員でお祝いするとともに、白木会長を先頭に今まで以上に同窓会活動を展開して、「九州に福岡千里会あり」と校友会に一目おいていただけるよう会員一同張り切っている。

（幹事長 出口積次
（安藤造園土木・白木成光 〓 092-841-4141）

梶川さんが迫真の技披露

幅広い年代層が出席

芦屋支部（直林法廣支部長）総会は2月5日、約90人の校友、現役生、来賓が参加し、芦屋市内のホテルで開かれた。直林支部長の2年目は、「世界に飛躍する関大」を目ざし、世代を超えた親交を深めた。

総会には、昭和10年卒の大先輩から1回生までが集った。直林支部長は「関大ブランドを高めるのが校友の力。1人でも芦屋から関大へ、そして世界へ。一方で世界から関大へ……。わが母校が日本の、アジアの、世界の関大に飛躍することを期待してやまない」と強調。

来賓を代表し、田中義昭校友会副会長が「強い関大を支える元気の校友会を築いていきたい」と祝辞を述べた。



続いて懇親会。体育会空手道部の演武が行われ、この中で、世界大学選手権大会女子個人形で連覇を果たした梶川凛美さんが迫真の技を披露、さらに応援団リーダー部第89代の富田龍郎団長指揮による力強い演舞が繰り広げられた。

羽毛布団や健康器具、食品などが当たるお楽しみ福引き大会では、会場は大いに盛り上がり、最後は肩を組んで逍遙歌を高らかに合唱、円陣の中、校友の絆を確かめ合った。

（昭59法 河合洋成
（依藤健史 〓 0797-23-7004）

冬の一大イベントに参加

「関西大学所蔵名品展」

をPR

2月13日、NPO法人伊丹タウンセンター主催による「第

9回伊丹わっしょい！冬の元氣まつり」、酒造会社主催の「第15回白雪蔵まつり」など各種団体が連携して、伊丹中心市街地での真冬の一大イベントが好天に恵まれ、多くの市民参加のもと、盛大に開催された。

伊丹支部（加藤拓支部長）も通称「三軒寺広場」にブースを確保し、フリーマーケットを開設、ブースの前には「関西大学校友会伊丹支部」の紫紺の幟旗を立て、3月5日から「柿衛文庫」において開催する「知と美の集大成―関西大学所蔵名品展」を広くPRするポスターを数多く張った。

ブース内では、市内在住の支部会員の皆様を持ち寄った酒類、アクセサリー、CD等あふれんばかりの品物を商品として販売、当該ブースは品物が良く

て、安いという定評があり、毎年多くの常連客が訪れ、今年も予想に違わず午前10時開店を待



ち切れない様子であった。

毎年、昼前には品物がなくなるといことから、今回は出来るだけ多くの品物の提供を支部会員にお願いし、売上高も好成績であった。なお、売上金の一部を福祉事業への指定寄付として伊丹市へ、そして校友会本部へ寄付をさせていただいた。

（広報部長 古屋敷達夫
（ヒラク気付 〓 072-785-5507）

5部合同納会に51名

校友の料亭「胡兆」で

12月25日、校友野口修氏の料亭「胡兆」で、川西支部（浅野洋一支部長）のゴルフ・釣り・歩こう・史跡探訪・ヤングの会の5部合同納会が行われ、51名が参加した。

初めに、各同好会会長から活動報告と来年の抱負が述べられ、その後、懇親会に入り大変



毎日

スタート&ダッシュ

あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。

お客様のご要望にお応えすべく、
確かな技術の中から
最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。
お届けするのは、印刷ソリューション。
そのために、情報も対応も、より速く的確に。
いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ！
私たちは東洋紙業です。

印刷で人と時代をコミュニケーションする

東洋紙業株式会社

大阪本社：〒556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18
東京本社：〒140-8670 東京都品川区南品川6-1-5

☎(06)6567-2111
☎(03)3450-2111

www.toyo-s.co.jp

盛り上がった。

KBC、関大放送局創設時からおられた山本清景氏から、苦労話や楽しい話をお聞きした。

途中、魚偏の漢字検定が20問あり、各テーブル毎に頭の体操で盛り上った。お開きは、相澤佑勲氏による関大逍遙歌の前口上と振りで大合唱した。

(仲井 徳)

(あさの文具) 072-759-3785

梅満開の「山の辺の道」を探訪

川西支部・史跡探訪の会では3月20日、会員と家族25人が菅原会長の解説で、柳本から桜井市三輪までの約7キロを、黒塚古墳、崇神天皇陵古墳、景行天皇陵、松原神社、大神神社の順に5時間かけて探訪した。



満開の梅が咲く中、古い集落とみかんや桃、柿の畑の間を歩きながら、春の風情を満喫。展望台からは、大和三山・香具山・畝傍山・耳成山を初め、大和平野を楽しんだ。

帰りのバスが出発した直後に雨が降り出し、4時に無事川西に到着した。

(浅田康弘)

地元FMラジオ局が取材市内史跡めぐりを実施

八尾支部(中尾達夫支部長)では、地域密着を活動方針とする一環として、3月27日に総勢27人の参加で八尾市内史跡めぐりを行った。

講師は佐々木裕子氏(平15院修史)、沢勲大阪経済法科大学名誉教授(西淀川支部長)、水野富蔵氏(名誉支部長)、松井幸一氏(昭41経)といった多彩な顔触れである。

出発時点の渋川神社では東日本大震災の犠牲者への黙祷を捧げた。八尾支部の小旗を列の前後に掲げ交通事故に注意すると同時に、この小旗は関西大学のPRにもなった。また、地元FMラジオ局(FMちやお)の取材を受けレポーターがマイクを片手に我々と同行することになった。

関西大学が古文書などの資料を分析した八尾市指定文化財「安中新田会所跡」を訪れ、学芸



員の解説を受け、「物部守屋墳」へと歩を進める。ここでは、「日本史を学ぶ人なら一度は来たいと思う場所。地元の関心の高まりを」と佐々木氏の熱弁。

次に訪れた場所は、52年前の昭和34年11月7日八尾支部誕生の地、大聖勝軍寺である。ここでは御堂の中にある、聖徳太子の壁画を寺側のご配慮により参観。この壁画を見られる事は非常に貴重な事である。

昼食場所として本堂の居間をお借りし、お茶とお菓子まで戴いた。

八尾には樟本神社という名の三神社があるが、鳥居の形が異なる。この解説を沢先生にお願いした。

らしていたが、ゆっくりと約6キロの史跡めぐりをしながらの、早春の楽しい一日であった。

(副支部長 南野佳子 昭36文)

(中尾達夫) 072-998-3526

伊丹緑ヶ丘公園で観梅 柿衛文庫で名品展覧

豊中支部(神保雅明支部長)では、3月5日、伊丹・緑ヶ丘公園の梅林と柿衛文庫で開催されていた「関西大学所蔵名品展」の見学へ、家族同伴で13人が参加した。

阪急石橋駅前に集合、阪急バスで緑ヶ丘公園の梅林へ直行。鳥インフルエンザの関係で池付近は見学できなかったが、それでもほぼ満開の梅の花に満足、園内の鴻臚館も見学、和菓子で疲れを癒す。

しばし休憩のあと、徒歩で伊丹緑道を経て猪名野神社を参拝し、柿衛文庫へ。当日の朝、上原理事長他によりテープカット

「物流関大会」 設立総会を開催 広義の物流業界から入会を!

かねてより準備を進めていた職域組織である物流関大会(福田泰久会長)が、3月12日に新大阪ワシントンホテルプラザで設立総会を開催した。

当日は、東日本大震災の翌日



を済まされた玄関で校友会伊丹支部の役員の皆さんの歓迎を受けて入館。関西大学所蔵名品の数々をゆっくり拝観。

隣接の岡田家の酒蔵を見学後、懇親会場の白雪ブルワリービレッジ長寿蔵では地ビールで乾杯。伊丹支部の加藤支部長、新原副支部長も同席していただき、時間の経つのも忘れ懇親会は盛り上がった。

(幹事長 横島正秀) (横島正秀) 06-6331-2275

「物流関大会」 設立総会を開催 広義の物流業界から入会を!

であり、当初出席予定の会員が業種柄、やむを得ず欠席者が少なからず出たが、会員数101人中45人の出席を得た。

校友会から寺内会長、石井副会長らの出席をいただき、応援



団長富田君の指揮による学歌斉唱で幕を明けた。

物流関大会は、高野武文、谷康司、栗尾尚孝の3人の発起人が、関大校友という縦系と物流職種という横系を折り合わせ、互助精神を発揮できる職域校友組織を創る事を目的に、設立総会は3人の企画・運営にて行ったが、受付など多くの会員が手助けして、当初から互助精神を発揮して設立総会が行われた。

発起人高野代表の設立経緯挨拶の後、谷議長から議案上程をし、役員選任など6議案全ての承認を得た。会長にはセンコー(株) 福田社長が就任し、挨拶の後、寺内校友会長から祝辞を賜り、設立総会を無事終え、晴れて物流関大会の発足を見た。

続く懇親会の席上では、和気

満々の雰囲気の中、開会・乾杯。名刺交換、各自懇談をして、その後の応援団及びチアリーダーによる演舞で会場は最高に盛り上がった。物流関大会会員で応援団元団長の清水隆行氏から応援団に謝辞、謝礼を行った。希望者による自己紹介もあり、最後は全員輪になって肩を組み、逍遙歌の大合唱でお開きとなった。

物流関大会では、これから会員募集が続けていきます。広義での物流関連業界に身を置く現役、OBの方々から人會をお待ちしています。(栗尾尚孝)

(大和運送・栗尾) 072-626-7235

南千里国際プラザなど 関西圏のプロジェクト紹介

2月22日、竹中工務店量の葉会(岩井克友会長)の総会が、ホテル阪神・クリスタルルームで開催され、40人近い校友が参加した。

岩井会長(昭52学法)が開会を宣言。来賓の顧問弁護士・藤井榮二先生から挨拶を頂戴したのち、西端康介幹事長(昭62学工建)の乾杯の発声と竹内丈久さん(平7学経)の進行により会は和やかに進められた。

恒例となった、最近の母校キャンパス案内では、春にグランドオープンする堺キャンパスが



同作業所長・安藤幸一さん(昭59学工建)から紹介され、さらにこれから整備が進められる南千里国際プラザなど、ますます大きくなる母校が紹介された。また、母校以外にも関西圏の様々なプロジェクトで活躍する校友を担当プロジェクトとともに紹介した。

続いて、初・2回目参加の会員の自己紹介スピーチが行われ、新入社員からベテランまで世代を超えた交流の時間となった。

終わりに、春に定年を迎える、田淵博史さん(昭50院修電)、速水光広さん(昭50学工建)のお祝いとして後輩校友から花束が贈呈され、和やかに先輩の定年を祝った。

最後に、母校体育会剣道部の現役コーチを務める河原寛さん(平3学社)の口上で逍遙歌を斉唱したのち、池内専務理事がなされる「強い関大」「強い校友会」「強い竹中工務店」での万

歳三唱を河野修さん(昭57学法)の発声で行い、来年の再会を約し盛会のうちに終了した。

(平5学法 藤本直樹)

OB 24人監督コーチ11人表彰 現役は15団体127人

3月12日、千里山キャンパスBIGホール100に、上原理事長、楠見学長、池内専務理事、寺内校友会長、水本教育後援会長を来賓に迎え、22年度体育OB会(小坂道一会長)総会が開催された。

第1部の総会では、小笹副会長の開会の辞で始まり、小坂会長が議長となり議事が審議さ



(竹中工務店大阪本店法務室・藤本直樹) 06-6252-1201

れ、海蔵寺会長代行の議案等全て承認された。

第2部のOB、現役表彰に移り、来賓から挨拶をいただいたあと、OB表彰、監督・コーチ表彰、現役表彰が行われた。総会、表彰式、記念撮影が終了し、懇親会が100周年記念会館で行われた。

来賓として法人、教学の役員、校友会、教育後援会、友好大学の関西学院、同志社、立命館のスポーツ関係のOB、友好団体のスポーツマンクラブ、応援団OB千成会、応援団OB長柄会から出席をいただいた。

小坂会長の開会挨拶、来賓を代表してK・G・A・A(関西学院) 渡辺会長に挨拶をいただき、池内専務理事の乾杯で懇親会が始まった。そして、東日本大震災の義援金募金を行った。懇親会では各部のOB、OG、現役が集い旧交をあたためた。

時間もおしせまり、応援団OB千成会中川經夫副会長の指揮のもとで逍遙歌、黒津副会長の開会の辞で総会の幕を閉じた。



当学院教室開講都道府県
合格者占有率 50.0%
当学院教室開講都道府県
合格者4,189名のうち、
当学院合格者数2,096名

当学院教室開講都道府県
**学科・製図ストレート
合格者占有率 54.5%**
学科・製図ストレート合格者
2,093名のうち、当学院合格者数1,141名

※都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表の受験番号より算出。※上記、当学院開講都道府県合格者占有率には、1級設計製図講座を開講していない青森県、岩手県、秋田県、長野県、鳥取県、島根県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、沖縄県の合格者は含まれていません。※上記エリアから開講の当学院開講教室にて受講し合格された方は、合格実績に含まれません。※学科・製図ストレート合格者とは、平成22年度1級建築士学科試験に合格し、平成22年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

関西大学

平成22年度 1級建築士合格者

卒業生 **62名中、34名が**
当学院の講座を利用して合格されました!

平成22年度 2級建築士 試験

学科試験
当学院受講生 基準達成者合格率 **96.4%**
8割出席・8割宿題提出・模擬試験60点以上
受講生533名中、合格者514名

設計製図試験
当学院合格者数 **2,273名**
2級製図講座 当学院受講生
基準達成者合格率 **75.7%**
9割出席・9割宿題提出受講生
1,690名中、合格者1,260名

平成22年度 宅地建物取引主任者 試験

当学院受講生 基準達成者合格率 **79.5%**
当学院、合格バックアップシステムの基準である8割
出席・8割宿題提出・公開統一模試得点率8割以上の
受講生117名中、合格者93名

平成22年度 1級建築施工管理技術検定

学科試験
当学院受講生 基準達成者合格率 **90.3%**
9割出席・9割宿題提出受講生144名中、合格者130名

実地試験
当学院受講生 基準達成者合格率 **87.6%**
9割出席・9割宿題提出受講生509名中、合格者446名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

“わかるまで”“独力で解けるまで・
描けるまで”指導します。

1級・2級建築士 1級・2級建築施工管理技術士
宅地建物取引主任者 インテリアコーディネーター
ファイナンシャル・プランナー 構造計算コース

株式会社 総合資格 監理技術者講習実施機関 登録番号7
(社)日本建築学会会員 宅建登録講習機関 登録番号(3)第009号
(社)全国産業人能力開発団体連合会会員 宅建登録講習実施機関 登録番号(2)第5号

株式会社 総合資格学院法政講習センター 一級建築士定期講習 登録番号 第6号
国土交通大臣登録講習機関 二級建築士定期講習 登録番号 第4号
管理建築士講習 登録番号 第2号

今すぐウェブ検索! ケータイサイトも充実!
総合資格 検索 <http://gakuin.jp/>
www.shikaku.co.jp ※QRコードは
バーコードリーダー
対応機種に限りです。

総合資格学院
すべては「合格」のために

梅田校 TEL.06-6374-1411 神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911 姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211 京都校 TEL.075-352-3011
なんば校 TEL.06-6648-5511 津津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311 奈良校 TEL.0742-30-1511
高槻校 TEL.072-686-6711

学院長 岸 隆司 (法48卒)

(東島憲之)
(近藤正昭) 06-6935-545
1339回目の都をどり鑑賞
芸妓さん京都名所を舞巡る

女子秀麗会 (仁井ひろみ会)

長は、4月10日、第6回の楽
塾として京都「都をどり」を総
勢30人で鑑賞した。京都に春の
到来を告げる都をどりは139
回目、「春花京都名所」を称
した今年は、西本願寺から幕が
開き、京の名所を春夏秋冬と舞
妓さん、芸妓さんが舞い巡り、
フィナーレを知恩院で迎えた。

一見華やかな都をどりも、今
年は東日本大震災の発生に悩ん
だ末、義援金を募る形での開催
を決められたとのこと。鑑賞す
る側もそのこと抜きでは鑑賞で
きない特別のものであった。

大学の大先輩、北条秀司先生
の戯曲「京舞」は、この都をど



り・井上流家元の話だが、「舞
台にひとたび立てば、悲しさは
胸に秘め、美しく・みやびに・
楽しく」という、その言葉どお
りの舞台だったと思う。

桜の花は一つ一つでは目立た
ないが、集団で咲くとどんな花
よりも華やかだ。団結してこそ
力を発揮する日本人の特性に、
「都をどり」も「桜」も通じるも
のがあると感じたのは私だけで
はないと思われる。桜満開、特

別な都をどりだった。

(広報 新谷里美)
(仁井ひろみ) 06-6922-6806

復活2回目の会合 畑下元会長から歴史聞く

2月23日にANAクラウンプ
ラザホテル大阪で、2回目の
「復活した清交社関大会」が18
人の参加で開催された。

加藤拓会長(昭40工)の挨拶
のあと、畑下辰典校友会元会長
(昭27経)から清交社関大会の歴
史について、お話をいただいた。
清交社は、88年の歴史を誇る
関西を代表する社交倶楽部だ
が、歴代、当会より理事長を務
められた方もおられ、全盛期に
は200人を超える会員が所属
され、諸先輩方による様々な活
動が行われ、関西の活性化に繋
がる貢献をされてきた。
しかし、現在は50人ほどに減



少しており、今こそ、再び元氣
な関西を取り戻す意気込みで当
会の復活を誓った。

その後は、全員がひとりひと
り自己紹介、現況報告を行い、
和やかな雰囲気の中、懇親会が
行われた。次回は各会員が一人
でも多くの校友を同伴して清交
社関大会を活性化していくこと
を確認し散会となった。

(山本一人 昭55工卒)

亀田健二教授が講演 中野大臣が撮影に同席

関西大学政治学会(北川均
会長)は、第27回総会を2月26
日、肥後橋・徐園で開催した。
当日は、本部から田中副会長ら
を迎え、総員38人が出席した。

総会では、北川均会長がメッ
セージを托し、「現在多方面で
活躍中の若手の新進気鋭の人材
を役員に登用して、本会の活性
化を図った」と挨拶で抱負を述
べた。また田中副会長は「本会
の本部登録を要請したい」と、
校友会組織への一層の協力方を
求めた。

恒例の記念講演は、テーマを
「政策形成における行政法学の
役割」と題して、母校政策創造
学部教授の亀田健二校友から
行政法学では、どのような観点
から、政策形成に関わっている
かについて論及され、含蓄のあ

る講話を拝聴した。

記念写真に移る時点で、このたび入閣された中野寛成大臣が駆けつけて撮影に同席した。

懇親会は、初参加の新人と古参との歯車が噛み合った雰囲気のもと、交歓を重ねて、定刻に成岡事務局次長発声で、万歳を唱え散会した。(吉田之註)

産学連携進む年輪関大会 小澤副学部長が講演

大阪中小企業投資育成の会員で、関大卒オーナーで組織する年輪関大会(朝倉満会長)の2月度例会を、2月24日に大阪新阪急ホテルで開催した。

今回は、社会安全学部副学部長小澤守教授の「湯沸器CO中毒からみた企業技術経営のあり方」と題して、企業における危機管理のあり方について講演を



いただいた。

続いて、大学の産学連携コーディネーターの松井由樹氏から、会員企業訪問の結果報告及び各種産学連携セミナーなどの案内説明があった。同じく田中久仁雄氏から産学連携における企業と大学との連携の取組みの現状について説明があった。

特に兵庫県西脇市の(株)ユタックス社長宇高章平氏(昭48学卒)の関西大学と共同研究で取り組んでいる繊維付加価値加工は投資育成の会報誌「年輪」560号で企業紹介されており、少しづつ産学連携が進みつつあり嬉しい限りだ。

一軸浩幸オブザーバーの乾杯の音頭で懇親会に入り、会員全員が現況の会社の報告をした。今回、初参加は1社のみだったが、徐々に参加者が増えてくるのは心強い。

(朝倉 満)



固い握手で再会誓う 高木先生退職記念会

3月27日、高木修社会学部教授の退職記念パーティーが、140人余りの学部・大学院ゼミの卒業生に加えて、20人余りの大学・学会・研究会関係者の来賓が参列して、梅田スカイビル37階で開催された。

来賓の祝辞と乾杯の音頭でパーティーの幕が上がると、会場内では久しぶりの再会もあり、高



木先生と参列者との歓談やスナップ撮影で大いに盛り上がりを見せた。また、会場内には学・修・博士論文が展示され、参列した卒業生がそれらを手に取り、思い出話に花が咲いた。

その間に、卒業生の思い出スपीチもあり、予定の時間は瞬く間に過ぎ、集合写真撮影と高木先生の謝辞で幕を閉じた。参列者は、会場出口で高木先生と固い握手を交わし、再会の誓

社会学部同窓会 創立10周年記念式典のご案内

新世紀の最初の年である2001年4月に産声をあげた社会学部同窓会(同年7月に校友会組織として認可、登録)は発足以来、校友会唯一の学部同窓会として3万人にもなる社会学部同窓生全体にネットワークを拡げていきたいとの大きな夢の実現に向け、着実に歩んできました。また、2007年の社会学部創立40周年記念事業に参加するなど学部との連携も深めております。

今般、創立10周年を迎えるにあたり、下記のとおり記念式典を開催いたします。皆様には、同窓会の満10歳を共に祝って戴きたくご案内申し上げます。

関西大学社会学部同窓会 会長 中村 仁

テーマ 「Jump to Next 10」(飛躍の10年を!)

日時 2011年7月3日(日)

場所 千里山キャンパス(100周年記念会館)

内容 第I部(10:00~) 第7回定例総会

第II部(11:00~) 創立10周年記念式典

記念式典(11:00~)

記念講演(11:30~)

講師 関西大学副学長 黒田 勇先生(社会学部教授:マスコミ専攻)

第III部(13:00~) 記念祝賀会

会費 ¥5,000(第3部記念祝賀会参加者のみ)

申込・問合せ 下記事務局までご連絡ください。



関 西 大 学 社 会 学 部 同 窓 会

事務局 〒520-1213 高島市安曇川町五番領76(中村方)

<電話> 090-3972-2608

<E-mail> shagaku07@yahoo.co.jp

<会費等振込先> 「関西大学校友会 社会学部同窓会」

(郵便振替口座 00920-0-116125)

<HPアドレス> <http://blogs.yahoo.co.jp/shagaku07>

いを胸に会場を後にした。

〔藤原 勇〕

各人各様に古希迎える 恒例の3月9日に総会

神戸三九会では、今年も3月9日に第27回目の定時総会を18人の出席を得て、神戸三宮酒肆「大関」にて開催した。

会員が古希を迎える年齢となり、病にて出席できない者がいる中、未だ元気に山登りをする者、夫婦で旅行を楽しむ者、地域活動にて社会に恩返しする者、第二の人生も終わり、いよいよ年金生活に入る者等々、各人夫々人生を過ごしている会員諸氏である。

今回は、欠席会員にも当日の記念写真を送付、また会員全員の近況報告も併せて同封した。

〔石山康弘〕



ゴルフ名門コースと 天然温泉で親睦深める

神戸支部（齋藤富雄支部長）の第38回ゴルフ親睦会が、4月19日に三木市のオリムピックゴルフ倶楽部（支配人は校友・大川高史氏）で開催され、32人が参加しプレーと親睦を深めた。

ホールアウト後は当ゴルフ場の天然温泉でプレーの疲れを癒し、懇親会を開催した。

表彰式では、渡邊泰之副支部長（昭42法）から優勝カップ、各賞、オリムピック賞、参加賞など盛りだくさんの賞品が授与された。優勝は太田善雄氏（昭46法）、2位は大先輩の白阪守



氏（昭35経）、3位は大島正司氏（昭41法）に輝いた。

次回は11月3日（文化の日）に三木セブンハンドレッド倶楽部で開催。

〔常任幹事 大倉敏郎・昭57社URL <http://www2.kandai-koyuka.com/al/kobe/>メール kul86@nifty.com（東光商会気付）FAX078-453-2171〕

優勝は初参加の小野氏 ホームページで様子を紹介

経済人クラブ（西村太一會長）春のゴルフコンペが、名門茨木カンツリー倶楽部東コースで3月30日に開催された。

昭和17年卒から平成8年卒までの17人が参加し、美しく戦略性に富んだコースでプレーを楽しんだ。

ゴルフ部会の大倉幾三郎會長と志水利達幹事の進行で表彰式



が行われ、優勝は、初参加の小野昭夫氏、2位は志水氏、3位は大倉氏、ベスグロは岡本元伸氏という結果に終わった。

次回は9月22日にリニューアルされた茨木カンツリー倶楽部西コースで開催予定。なお、今回の様子はホームページでも紹介しています。

〔http://ku-keizaijclub.jp/index.php〕

〔若手会幹事 村上康司（校友会事務局気付）06-6368-0041〕

傘寿の会員が 元気一杯にプレー

二九千里会（福岡剛會長）第43回ゴルフコンペは、3月25日にABCゴルフ倶楽部で開催された。

当日は晴れ後曇りで風もつめたかったが、傘寿を迎えそれぞれ体調不良をかかえながらも元



気一杯プレーを楽しんだ。

成績は、優勝・水野富藏（商）、準優勝・堀辰次（家）、ベスグロ・川西康子（家）が獲得した。

懇親会の後、次回の10月6日花屋敷ゴルフ倶楽部での再会を約し散会した。〔日高由雄（水野富藏）072-922-0864〕

断トツのスコアで 水本氏が優勝

第62回関大チエリークラブ（竹内知行會長）の春季ゴルフコンペが、4月12日に、会員の島津禮次社長（昭30法）「るり溪ゴルフクラブ」で開催された。

平成20年に記念植樹した桜を、今年初めて開花が観られるかと期待したが、里に比べ開花時期が遅く、あと一週間で観



ることが出来ず残念ながら来春に期待する。

今回も今井信義（30経）、藤原博喜（38経）、島津真之3氏の初参加で22人が集い、いつもながら和気藹々の一日を楽しんだ。プレー終了後の懇親会では古川好男校友会副会長から大学の現況と、上海・復旦大学の交流、地域支部の積極的支援など

新刊



紹介

高橋隆博（文学部教授）著

『街道をあるく』

大和の美と風土

関西大学出版部 刊

定価2100円＋税



著者は山形県東根市の出身。末永雅雄に憧れ、はるばる関西にやってきた。なぜか日本史の「本流」から外れ、美術工芸の

について報告があった。

戦績は、断トツのグロス78でベスグロも獲得した水本武（36法）が優勝、2位木村昌司（33法）、3位徐 楊素青の各氏。今回の秋季大会は9月下旬開催予定。『ゴルフ部会 加山享二』（数内正明06―6211―1050）

世界へ入り、26歳で奈良県立美術館に就職する。

その後、52歳の時、奈良交通の社内誌『大和路』に連載の依頼が舞い込む。美術工芸・歳時記など、前著『巡歴 大和風物誌』の元になった連載を続けること7年。ネタが尽きたところで心機一転、新たに始めた連載が『街道をあるく』である。

還暦を前にしたひとりの男が、『平成の日本』を生きながら、奈良・大和のどこに向かい、何を思い、何を見つめながら歩いたのか。

本書には、室生・長谷、山の辺、柳生街道、京街道、當麻・葛城、多武峰・飛鳥、信貴・生駒、郡山・矢田、南山城の地域から、著者自身による巡歴30編が集められている。冒頭には、連載がスタートした地でもある「室生の里」が置かれているが、そこには特別な思いがある。山形から関大にやって来た苦

学生が、釈迦如来坐像見たさに何度か室生寺を訪れたという青春の日の記憶。もうひとつは、明治政府による廃仏毀釈という蛮行への強い憤りである。寺院や神社、文化遺産は、有為転変を免れ難いものである。

それでいて奈良・大和には、「よそが地団駄踏んだところで追いつかない、古い歴史をもつ寺院と神社があり、信仰の山があり、古代からの風景がそのまま残されている」。著者を、そして私たちを惹き付けてやまない魅力である。

奈良・大和には、人それぞれに思い出がある。本書は、読者ひとりひとりを、それぞれの思い出の地へと誘う。それはまたもう一度、「日本」を学ぶことでもある。（文学部教授 藪田 貫）

伊東 理（文学部教授）著

『イギリスの小売商業政策・開発・都市

政策・開発・都市

―地理学からのアプローチ―

関西大学出版部 刊

定価3000円＋税



1980年代後半以降、日本では小売細層を中心とした小売商店数（事業所数）の減少が進行し、あわせて地域の商店街の衰退が進んだ。この間、日本の小売商業政策は、大型店の出店活動を直接的に規制する方法から、大型店の立地のみを問題とする方法に大きく転換した。

その際、参考とされたのが、本書の考察対象であるイギリスの小売商業政策であった。したがって、本書はイギリス小売商業政策研究を大きく進展させた学術上の意義のみならず、これからのわが国小売商業政策に指針を与える実践的な意義も有している。

伊東氏の15年以上に及ぶ研究成果である本書は、戦後イギリス小売商業政策の変遷と実際の都市・地域における中心市街地商業の再生や活性化がまとめられている。全章を通じて、氏は豊富な一次資料や現地調査をもとにして、精緻に分析を進められ、イギリス小売商業政策の要諦である「開発」概念やその影響を解明された。

また、氏はブレア政権発足以降注目を集めるようになった「社会的・空間的分極化」によって生じた社会的排除問題を研究の視座におかれる。近年、わが国でもフードデザートや買物難民問題が顕在化している。中心市街地の活性化はもちろん、

買物難民のような新たな課題に多くの示唆を与える本書は、専門の研究者だけでなく、商店街活性化やまちづくりに取り組み多くの人たちに一読を勧めたい。（経済学部教授 佐々木保幸）

『笑いの力』

「笑って生き生き」

『街道をあるく』

大和の美と風土が
日本図書館協会の
「選定図書」に！



このたび、関西大学出版部の刊行図書『笑いの力』笑って生き生き〜 井上 宏（名誉教授）著（平成22年12月刊行）と『街道をあるく 大和の美と風土』

高橋隆博（文学部教授）著（平成23年1月刊行）が、社団法人日本図書館協会の「選定図書」に選ばれた。

前書では、未来への新しいエネルギーを汲み出す「笑いの力」を認識しなおし、その力の効用を訴える。現在の閉塞感を突破していくためには、何よりも個人と社会の元気が必要であるこ

とを説いている。

一方、後書では、風の音、山河のささやきに耳をかたむけ、「日本のふるさと」である大和の美と風土をさぐる。奈良・大和

路の古道をめぐりながら、仏と神たちの知られざる歴史と謎を解き、街道を行きかった人たちの息づかいを訪ねる導きの書となっている。（関西大学出版部）

お悔み申し上げます

（敬称略）

飯田富興（いいた・とみおき）昭22専1法・25学卒、元奈良県立奈良商業高校校長。平成22年5月23日死去。86歳。桜井市。

青島孝輔（あおしま・たかすけ）昭28学卒、元大阪府民生部保健指導室長。6月17日死去。79歳。枚方市。

甲、昇造（あすま・しょうぞう）昭16関大、公認会計士。7月7日死去。86歳。高槻市。

西畑 繁（にしはた・しげる）昭17専2経。7月14日死去。89歳。茨木市。

山田 実（やまだ・みのる）昭22専2法・25学卒、元大阪府。89歳。大阪市。

中原聰雄（なかはら・としお）昭22専2法・25学卒、元大阪府。特別法曹員、司法書士・不動産経営管理士、中原・佐々木司法等総合事務所。9月8日死去。94歳。箕面市。

深田耕司（ふかだ・こうじ）昭17専1法。10月16日死去。91歳。東大阪市。

宮尾漸次（みやお・ぜんじ）昭26学卒。12月20日死去。82歳。豊中市。

松田 章（まつだ・あきら）昭26学卒。元松下電器産業取締役。平成23年1月7日死去。81歳。生駒市。

中村英三（なかむら・えいぞう）昭37学卒。1月18日死去。71歳。草津市。

築谷節夫（つきたに・せつお）昭37学商。2月19日死去。72歳。ふじみ野市。

大戸民男（おおし・たみお）昭23大予。25学卒、第一新生会幹事。2月20日死去。82歳。宝塚市。

西岡禎伯（にしおか・としのり）昭45学卒、元三好大阪生コンクリート常務取締役。2月22日死去。65歳。美馬市。

竹内忠徳（たけうち・ただし）旧姓馬越。昭9専2法・12大法。2月23日死去。97歳。茂原市。

平井賢一（ひらい・けんいち）昭21学卒。2月28日死去。103歳。香川県綾歌郡辻佐一郎（つじ・さいちろう）昭23専1商・25学卒、NPO法人こころ・タイフー

ン理事長、大阪市内支部連合会会長・元城東支部長、第一新生会幹事、校友会代議員。3月4日死去。82歳。大阪市。

谷澤永一（たにざわ・えいいち）昭27学文・29M文・32D文、名誉教授・元文学部教授、専門は書誌学。3月8日死去。81歳。川西市。

大変な蔵書家・読書家として知られ、深い教養に裏打ちされた近現代の文学・評論などを研究。昭和55年に「完本紙ついで」でサントリー学芸賞、平成16年に「文芸大喧嘩」で読売文学賞、18年に「紙ついで」で自注最終版、毎日書評賞を受賞。著書は「日本人の論議」「人間道」「回想 開高健」など多数。

約10年間努めた「おもしろサンデー」（読売テレビ）のコンメンターとして茶の間に知られた。

大垣文男（おおがき・ふみお）昭36学卒。元大阪府法務局勤務。3月12日死去。75歳。宝塚市。

木村一哉（きむら・かず）昭17大予2・19大経。3月24日死去。88歳。岸和田市。

志岐忠一（しき・ただいち）昭37学経、元和歌山市役所勤務。3月26日死去。71歳。和歌山市。

山内恒男（やまうち・つねお）昭34学経。元伊丹市助役。3月27日死去。76歳。伊丹市。

小田純市（おだ・じゅんいち）昭19専1経。3月28日死去。88歳。堺市。

澤田嘉貞（さわだ・よしさだ）昭26学法・28M法・32D法、名誉教授・元法学部教授、専攻は憲法学。校友会代議員。4月12日死去。82歳。尼崎市。

憲法の基礎として地方自治・地方行政も研究。理論と実務の研究から府・県・市の教育委員、公害紛争委員会多くの委員内では千里山法律学会会長、睦法会（同OB会）会長などを歴任。

玉柏明英（たまかし・あきひで）昭45学法、元JAバンク大阪信連理事長、校友会代議員・元常議員、平野支部組織部長。4月22日死去。64歳。大阪市。

【訂正】前号社報欄に掲載の深田耕司氏（昭60学工建）は、同姓同名の（昭17専1法）の誤りでした。深くお詫びし、訂正します。

会催し

掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先・電話番号）の順。

【本部関係】

- ▷第97回定時代議員会 6月11日（土）午後1時 千里山キャンパス・100周年記念会館
- ▷天神祭船渡御奉拝船「関大丸」就航 7月25日（月）午後5時 大川・指定乗船場
- ▷第17回海外研修 9月23日（祝）～25日（日）2泊3日 台湾
- ▷平成23年度校友総会 10月16日（日）午後1時 千里山キャンパス第2学舎4号館「BIGホール100」
- ▷平成24年校友会新年互礼会 平成24年1月14日（土）午後6時 大阪新阪急ホテル
- ▷第98回定時代議員会 3月24日（土）午後1時 千里山キャンパス・100周年記念会館

【地域支部】

- ▷和歌山支部総会 5月29日（日）午前11時 ダイワロイネットホテル和歌山（長谷川治機・赤井雅哉＝073-436-2151）
- ▷和泉支部総会 6月4日（土）午後7時 和泉シティプラザ・レセプションホール（5千円。山本邦夫＝080-6210-3270）
- ▷神戸支部総会 6月17日（金）午後6時半 ホテルオークラ神戸（昭和卒1万円、平成卒8千円。東光商会＝FAX078-453-2171、ku1886@nifty.com）
- ▷八尾支部総会 6月18日（土）午前11時 八尾市文化会館・プリズムホール（中尾達夫＝072-998-3526、090-9877-5700）
- ▷東淀川支部・淀川支部総会・合同懇親会 6月18日（土）午後5時総会・5時50分合同懇親会 ホテルプラザオーサカ（東淀川・木川高志＝090-711-6991、淀川・福田泰久＝06-6821-2345）
- ▷大阪狭山支部総会 6月18日（土）午後6時 SAYAKAホール（花崎光輝＝072-366-6120）
- ▷都島支部総会 6月18日（土）午後6時半 大阪リバーサイドホテル（乙呷淑子＝06-6927-0390）
- ▷北支部総会 6月24日（金）午後6時 ニューミュンヘン北大使館（司法書士市田利夫事務所＝06-6375-1336）
- ▷堺支部設立70周年記念総会 6月25日（土）午後4時 リーガロイヤルホテル堺（鍋島均＝072-998-3526）
- ▷城東・鶴見・旭3支部合同総会 6月25日（土）午後6時半 天満橋・大阪キャッスルホテル3階・錦城閣（鶴見支部・迫 匡＝06-6961-7363）
- ▷東大阪支部総会 6月25日（土）午後6時半 ホテルアウリーナ大阪（岩崎事務所＝072-966-0111）
- ▷豊中支部総会 7月2日（土）午後5時 ホテル・アイボリー（横島正秀＝06-6331-2275）
- ▷京都支部総会 7月2日（土）午後6時 リーガロイヤルホテル京都（大西康治＝075-691-3513）
- ▷岡山支部ゴルフ大会 7月2日（土） 金陵カントリークラブ（ユアーズコンサルティング＝086-250-5592）
- ▷岡山支部総会 7月3日（日）午後1時半 岡山アークホテル（ユアーズコンサルティング＝086-250-5592）
- ▷河内長野支部総会 7月3日（日）午後3時半 河内長野荘（榎本正人＝0721-63-5120）
- ▷富田林支部総会 7月9日（土）午前10時半 富田林市民会館（野島努＝0721-23-3190）

- ▷高槻島本支部総会 7月9日（土）午後3時 たかつき京都ホテル（コヤマカンパニー＝072-682-2525）
- ▷石川県支部総会 7月9日（土）午後6時半 金沢エクセルホテル東急（岡野茂＝0767-28-3508）
- ▷伊丹支部総会 7月15日（金）午後7時 伊丹シティホテル（ヒラク・加藤拓＝072-485-5507）
- ▷北九州支部総会 7月23日（土）午後6時半 リーガロイヤルホテル小倉（岩水秀一＝080-1539-3833）
- ▷熊本支部総会 7月30日（土）午後7時 熊本ホテルキャッスル（祐水コンサルタン・宮田忠明＝096-340-1167）
- ▷福岡千里会総会 8月6日（土）午後6時半 グランド・ハイアット・福岡（安藤造園土木・白木成光＝092-841-4141）
- ▷宮崎千里会総会 8月19日（金）午後6時半 宮崎市内（場所未定）（山口道雄＝0985-22-7243）
- ▷鹿児島千里会総会 8月20日（土）午後5時半 鹿児島サンロイヤルホテル（時任博幸＝099-264-7806）
- ▷長崎支部総会 8月26日（金）夕刻 場所未定（松尾一成＝095-844-8405）
- ▷佐賀千里会総会 8月27日（土）夕刻 場所未定（松永久光＝0952-53-2190）
- ▷阿倍野支部総会 9月10日（土）午後6時 ホテル日航大阪・孔雀の間（松田商事・松田充弘＝06-6622-5580）
- ▷吹田支部総会 9月24日（土）午後2時 メイシアター（日隆産業・谷康司＝06-6329-4424）

【職域会ほか団体】

- ▷イエローサブマリンテニスクラブ総会 6月4日（土）午後6時 おだいどこ十三店
- ▷3団体合同ゴルフコンペ 6月9日（木）午前8時 愛宕原ゴルフ倶楽部（応援団OB長柄会・綿木真二＝06-6330-7297）
- ▷天六同友会総会 6月18日（土）午後3時半 千里山キャンパス・校友会会議室（石井公認会計士事務所＝06-6364-6816）
- ▷経済人クラブ第191回例会 6月20日（月）午後6時 大阪新阪急ホテル（校友会事務局＝06-6368-0041）
- ▷東京経済人倶楽部交歓会 6月20日（月）午後6時半 場所未定（東京センター＝03-3211-1670）
- ▷応援団OB千成会総会 6月25日（土）午前11時 千里山キャンパス・校友会会議室（田中正喜＝06-6499-1948）
- ▷女子秀麗会総会 6月26日（日）午前11時 シティプラザ大阪（仁井ひろみ＝06-6922-6806）
- ▷華文会総会 7月2日（土）午後6時 大東洋（三坂友章＝0797-85-8031）
- ▷社会学部同窓会第7回総会・創立10周年記念式典 7月3日（日）午前10時総会・11時記念式典 千里山キャンパス・100周年記念会館（中村仁＝090-3972-2608）
- ▷スポーツマンクラブ七夕総会 7月7日（木）午後7時 ニューミュンヘン北大使館（関西船用＝06-6572-1021）
- ▷自動車関大会総会 7月13日（水）午後6時45分 ホテル大阪ベイタワー（大阪トヨタ自動車経理グループ・中野吾一＝06-6451-6853） 司法書士関大会合格祝賀会 7月16日（土）午後6時 大阪キャッスルホテル（中村博司司法書士事務所＝06-6705-5678）

ご 良 縁

成婚率の高さがキメテ!!

株式会社 **Em Road** ^{Marriage Road}

コンピューターを一切使わず、
お一人お一人丁寧にお世話させて
いただいております。

※エムロードはここが違う!!

- 1 成婚率の高さ
(無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり
100%の行き届いたシステム)
- 2 質の高い会員層
(国公立・有名私立大卒が中心)
- 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
(ご入会からご成婚まで、行き違いのないように
同一アドバイザーが担当)
- 4 自社会員のみの構成
(成婚率の高さの維持とプライバシーの保護の
為に他社との提携は一切なし)
- 5 ご両親説明会開催
(月一回ご両親への説明会開催)
- 6 格式あるお見合いパーティー
(帝国ホテル・リッツカールトン等一流ホテルでの
会員様だけの集い)
- 7 安心の均一料金システム
(どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視
の安心料金システム)



新聞・テレビで

“成婚率の高い結婚相談所”と紹介されました。

- ドクターズコース、一般コース、中高年各コース 有
- 資料請求無料

NPO 法人ワークライフバランス推進協力機構 監事
業界団体 NLB日本ナノライセンス結婚専科システム協議会理事

お問い合わせセンター 大阪・神戸・京都
よいふうぶ よろしく

0120-4122-46

創業21年、5,500組を超える成婚実績、
コンピューターを一切使わず、すべててづくり100%
の誠実なマンツーマンシステムです。
また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介
を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。
その為、他社との連携は一切いたしておりません。

私どもに届いたお手紙です。

交際中はいろいろお世話になりました。
的確な時期にとっても参考になるアドバイスをいた
だき、感謝しています。
色々ご迷惑をおかけしましたが、このたび縁あって
素晴らしい女性と決まりました。
これから二人でいろいろ苦難もあると思いますが、
がんばっていきたいと思います。

京都大学大学院卒 公認会計士 35歳 男性



大阪 毎日新聞ビル5F

神戸 神戸国際会館19F

京都 オフィスワン四条烏丸6F

直営店
大阪 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル5F
神戸 神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F
京都 京都市下京区室町通綾小路 上 鶏鉾町480番地
オフィスワン四条烏丸6F

携帯サイト **m-road.info** エムロード 結婚 検索

●営業時間/10:00~18:30 ●定休日/水曜日

時と共に
深まる
価値がある。

近畿圏 第1位

「ブラシエラ吹田片山公園」は、
週刊ダイヤモンド」(2010年6月1日発行)の
売れ筋ランキングで、
近畿圏第1位に
選ばれました。

外観完成予想図

長期優良住宅ならではの
特別減税制度

フリーダイヤル **0120-114-305** プランシエラ吹田片山公園

■営業／午前10時～午後6時 ■定休日／毎週火曜・水曜定休 www.lam-suita.com

地球は今、どんな夢を
見ているのだろう。

©Lisa Vogt / MC Planning, Inc.

次世代の環境は、今つくられている。

想いをかたちに

竹中工務店

お問い合わせは広報部へお願い致します。〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(6810)5140 / 〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605